

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-4

< 第5週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第2週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.5-10

< インフルエンザ > 第5週の定点当たり報告数は5.31であり、前週2.58の2倍以上となった  
< 麻しん > 2005年、2006年と報告が少ない状態が続いているが、2006年には地域的な流行がみられている



病原体情報  
P.11-14

インフルエンザウイルス 2006/07シーズン / 感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン



速報  
P.15-16

2006年度第2期麻しん・風しんワクチン接種に関する全国調査  
- 2006年10月1日現在中間評価 -



海外感染症情報  
P.17-18

エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況 / トーゴで黄熱の流行 / チャドでポリオ患者発生 / ブルキナファソで髄膜炎菌感染症の流行 / ジャマイカでマラリアの流行



感染症の話  
P.19

< 今週はお休みです >



読者のコーナー  
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(5週)  
P.20-26



5週のデータ  
P.27-38



# 発生動向総覧

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

## < 第5週コメント > 2月8日集計分

### 全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては原則として発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

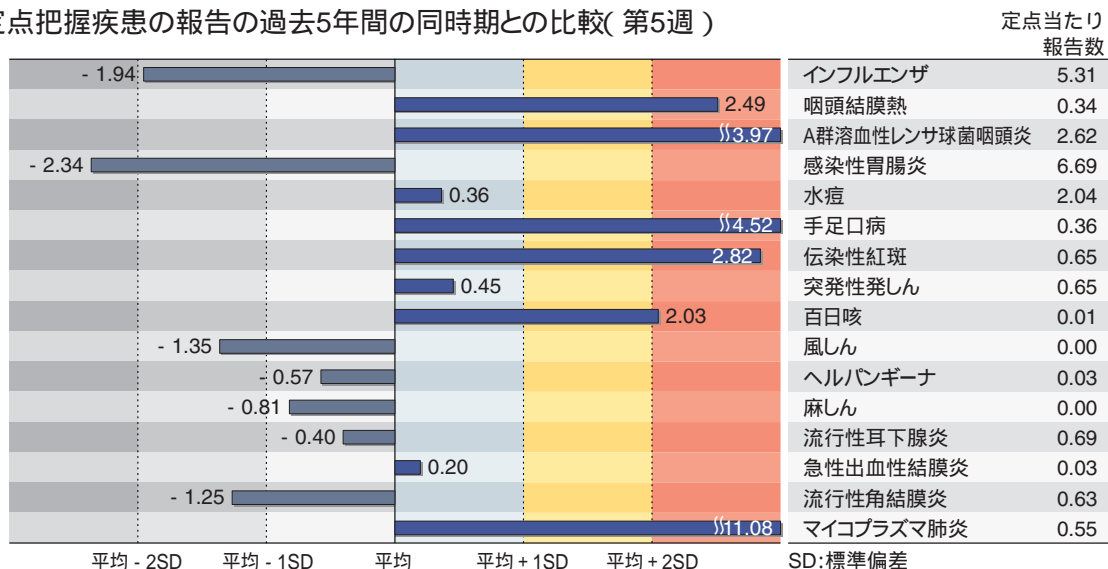
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ 1例(疑似症)
  - 細菌性赤痢 19例
    - 感染地域: 東京都1例、ベトナム7例、インドネシア4例、カンボジア3例、ケニア2例、ネパール1例、フィリピン1例
  - パラチフス 1例(感染地域: 奈良県)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 5例(うち有症者4例、HUS 1例)
  - 感染地域: 大阪府2例、埼玉県1例、広島県1例、国内(都道府県不明) 1例
  - 年齢群: 10歳未満3例、30代1例、60代1例
  - 血清型・毒素型: O157 VT2(4例)、O157 VT不明(1例)
- 4類感染症: E型肝炎 1例(感染地域: 埼玉県、感染源: 生レバー(種類不明))
  - A型肝炎 2例(感染地域: 国内(都道府県不明) 1例、チュニジア1例)
  - Q熱 3例(感染地域: すべて香川県、感染源: イヌ1例、ウサギ1例、不明1例)
  - つつが虫病 1例(感染地域: 鹿児島県)
  - ポツリヌス症 1例(乳児ポツリヌス症)
  - レジオネラ症 6例(すべて肺炎型)
    - 年齢群: 50代3例、60代2例、70代1例
    - 感染地域: 北海道1例、茨城県1例、静岡県1例、福岡県1例、大分県1例、国内(都道府県不明) 1例
  - レプトスピラ症 1例(感染地域: 新潟県、感染源: ネズミ)
- 5類感染症: アメーバ赤痢 12例(腸管アメーバ症11例、腸管外アメーバ症1例)
  - 感染地域: 国内6例、インドネシア2例、中国1例、タイ1例、トンガ/インドネシア1例、米国/ヨーロッパ/東南アジア1例
  - 感染経路: 経口2例、性的接触4例(異性間2例、同性間1例、不明1例)、経口/性的接触(異性間) 1例、不明5例
- ウイルス性肝炎 2例
  - B型 1例(感染経路: 不明)
  - C型 1例(感染経路: 性的接触(異性間))
- 急性脳炎 2例
  - [A型インフルエンザウイルス2例(8歳、9歳)]
- クロイツフェルト・ヤコブ病 2例(ともに孤発性プリオン病古典型)
- 後天性免疫不全症候群 20例(無症候15例、AIDS 4例、その他1例)
  - 感染地域: 国内17例、ブラジル1例、ドミニカ1例、不明1例
  - 感染経路: すべて性的接触(異性間8例、同性間12例)
- ジアルジア症 1例(感染地域: ポリビア)
- 梅毒 9例(早期顕症1期4例、早期顕症II期1例、晩期顕症2例、無症候2例)
- バンコマイシン耐性腸球菌感染症 3例
  - (遺伝子型: VanB 1例\_\_菌検出検体: 血液、遺伝子型: VanC 2例\_\_菌検出検体: 胆汁1例、中心静脈カテーテル1例)

(補)他に梅毒1例の報告があったが削除予定。また報告遅れとして、細菌性赤痢6例(感染地域: インドネシア2例、アイルランド1例、中国1例、カンボジア1例、ラオス/カンボジア1例)、パラチフス1例(感染地域: インド)、E型肝炎1例(感染地域: 国内(都道府県不明)、感染源: プタレバー)、急性脳炎4例(RSウイルス2例(ともに1歳)、B型インフルエンザウイルス1例(6歳)、病原体不明1例(30代))、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(50代、血清群: 不明)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例(遺伝子型: VanA 1例\_\_菌検出検体: 血液、遺伝子型: 不明1例\_\_菌検出検体: 胆汁)などの報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第5週)



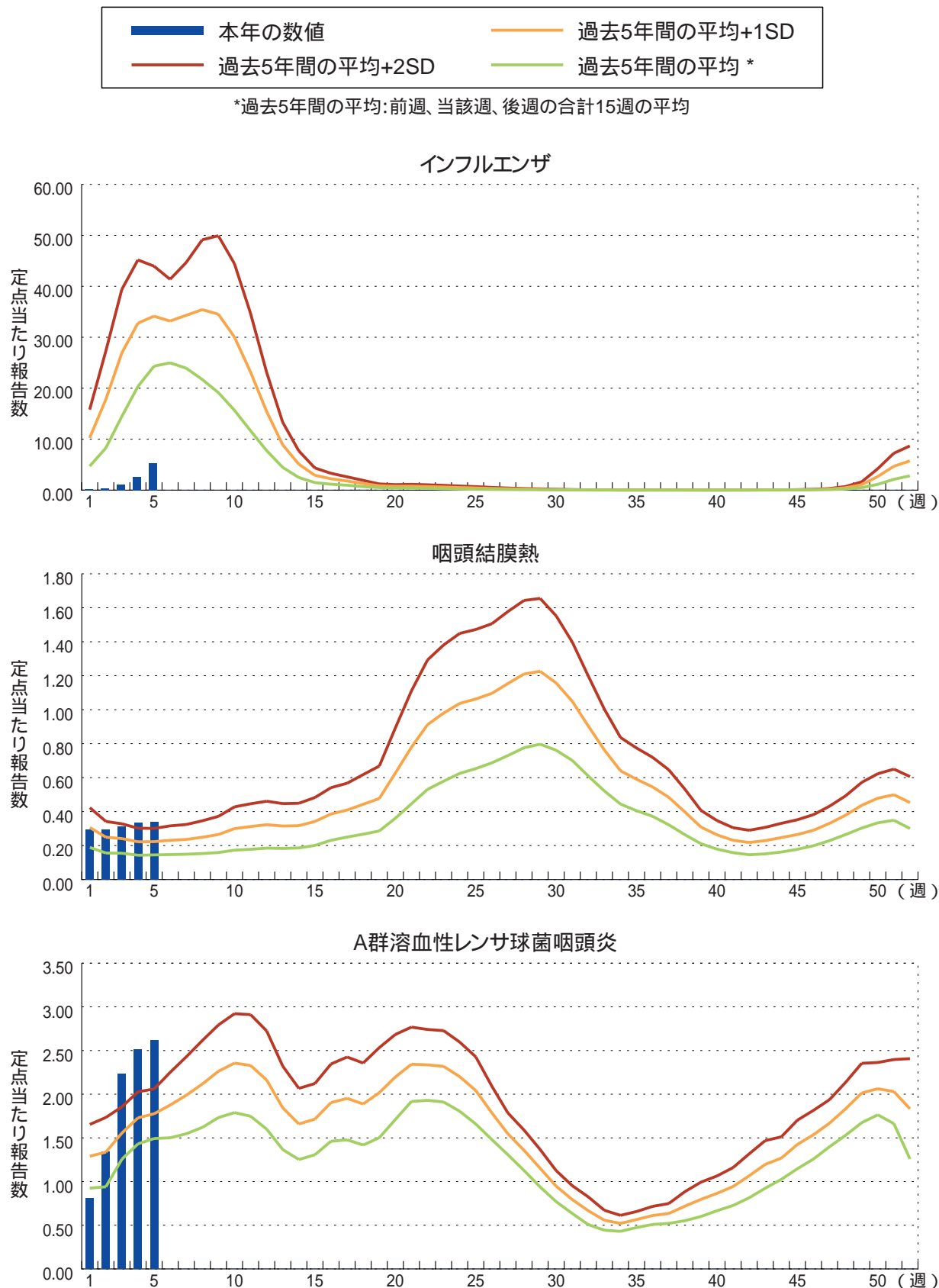
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では愛知県(19.3)、宮崎県(14.3)、山形県(14.1)、福島県(8.5)、福岡県(8.3)、三重県(7.8)が多い。

**小児科定点報告疾患**: RSウイルス感染症は3,141例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の73%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は微増し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してもかなり多い。都道府県別では長野県(1.02)、富山県(0.97)、青森県(0.95)、宮崎県(0.81)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第2週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では富山県(7.5)、鳥取県(6.6)、新潟県(5.0)、北海道(5.0)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では鳥取県(13.0)、大分県(12.6)、福井県(11.4)、宮崎県(11.1)が多い。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県(4.3)、和歌山県(4.2)、大分県(4.0)が多い。手足口病の定点当たり報告数は微減したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では宮崎県(5.5)、長崎県(1.9)、佐賀県(1.8)、鹿児島県(1.4)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では富山県(3.7)、宮城県(1.6)、石川県(1.4)、岩手県(1.3)が多い。百日咳の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では長野県(0.09)、栃木県(0.07)、岐阜県(0.06)が多い。風しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では神奈川県、愛知県、京都府、大阪府から各1例の報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では熊本県(0.21)、山口県(0.16)、島根県(0.13)が多い。麻しんの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では埼玉県より3例、長野県、愛知県、兵庫県、広島県から各1例の報告であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県(3.3)、宮崎県(1.9)、岩手県(1.8)が多い。

**基幹定点報告疾患**: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では沖縄県(5.0)、青森県(3.0)、福島県(1.9)が多い。成人麻しんは宮城県、長野県から各1例の報告であった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2007年第1~5週)  
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





# 注目すべき感染症

## インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性呼吸器感染症である。1～3日間の潜伏期間を経て、突然に発熱(38以上)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続く。通常は1週間前後の経過で軽快するが、いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴である。インフルエンザの正確な診断には、ウイルス学的検査が必要である。

感染症発生動向調査によると、2007年第5週のインフルエンザの定点当たり報告数は5.31(報告数25,190)であり、前週2.58の2倍以上となった(図1)。都道府県別では愛知県(19.3)、宮崎県(14.3)、山形県(14.1)、福島県(8.5)、福岡県(8.3)、三重県(7.8)、岐阜県(7.7)、大分県(6.9)の順であり、全国平均を上回っている都道府県は中部、九州、東北地方南部～関東北部の地域に多くみられている(図2)。今シーズンはこれまでに(2006年第36週～2007年第5週)、定点医療機関から49,671例の報告がなされている。年齢別では、5～9歳が27.5%と最も多く、次いで10～14歳(23.9%)、0～4歳(18.9%)の順であるが(図3)、例年と比較すると0～4歳、5～9歳の割合が低く、10～14歳、15～19歳の割合が高くなっている。

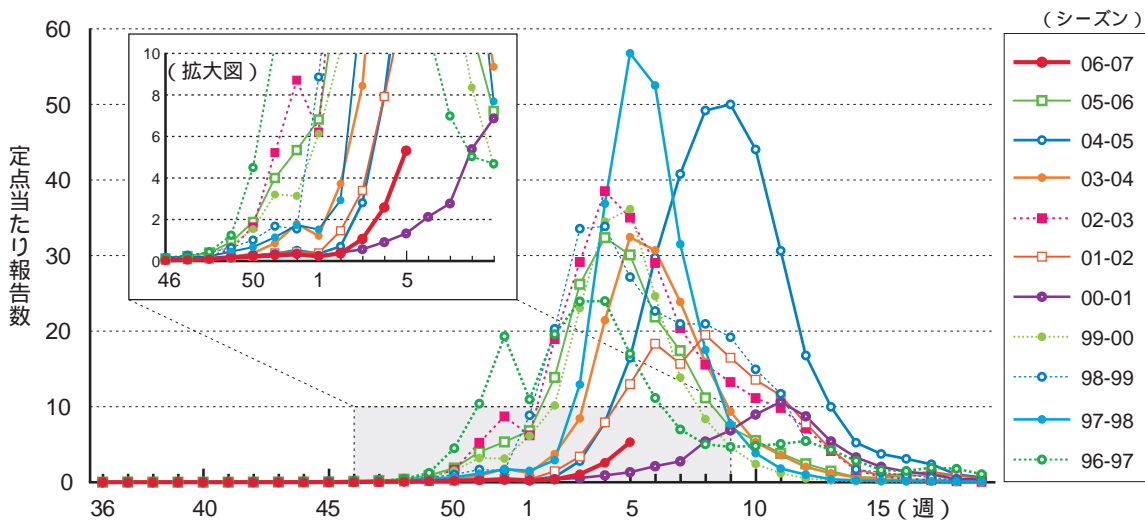


図1. インフルエンザのシーズン別・週別発生状況(1996年第36週～2007年第5週)

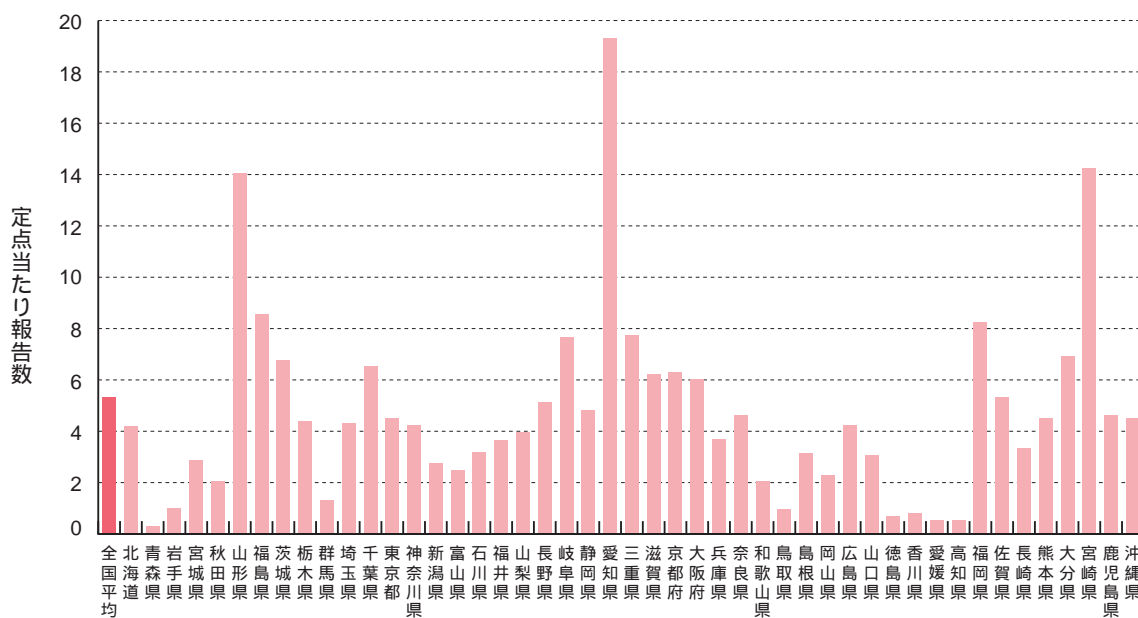
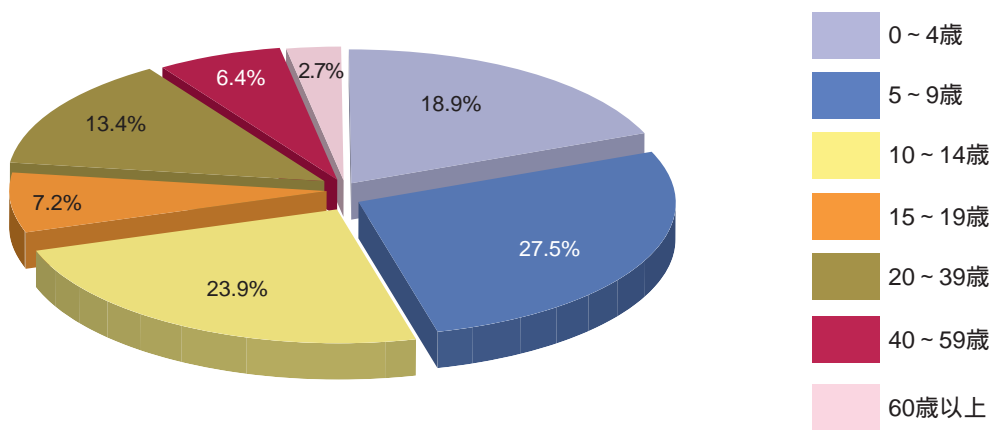


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況(2007年第5週)



(総報告数=49,671)

図3. インフルエンザの報告症例の年齢別割合(2006年第36週～2007年第5週)

2006年第36週以降これまでに、全国の衛生研究所から報告されたインフルエンザウイルスの分離報告(総報告数344)では、AH3亜型(A香港型)58.1%(報告数200)、B型32.0%(110)、AH1亜型(Aソ連型)9.9%(34)の順となっているが(図4)、特に2006年第50週以降ではAH3亜型の割合が増加している(図5)。

今シーズンのインフルエンザの流行は1月中旬(2007年第3週)から始まっており、そのピークは2月下旬以降になるものと予想される。今後とも、インフルエンザの発生動向には注意深い観察が必要である。

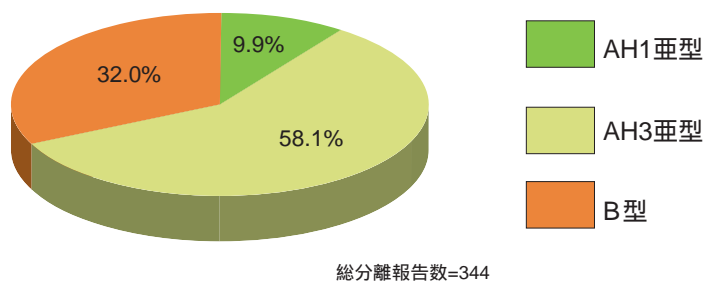


図4. 2006/07シーズンにおけるインフルエンザウイルスの分離状況 (2006年第36週～2007年第5週)

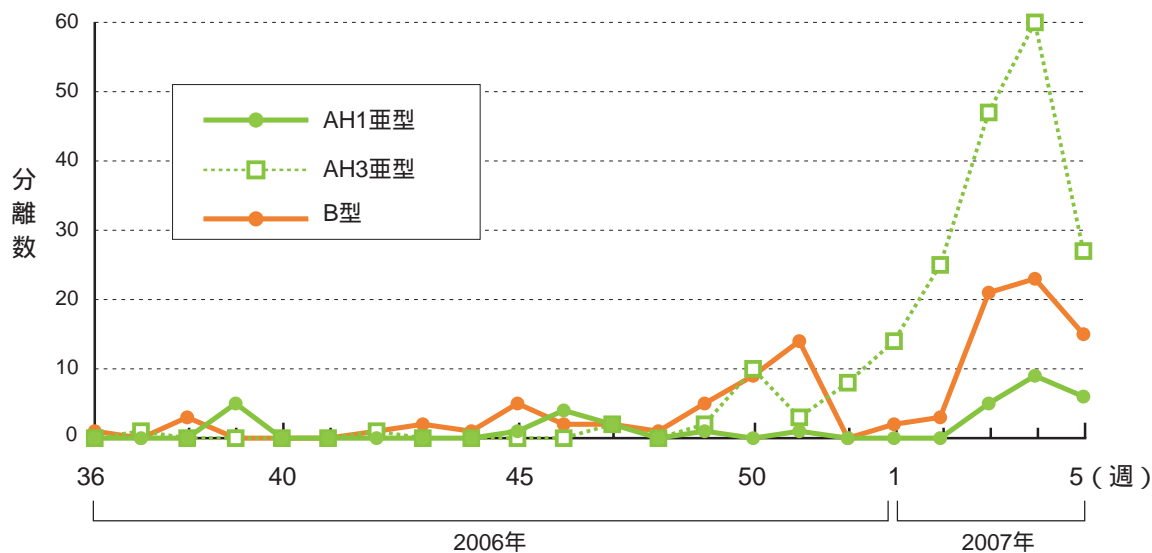


図5. 2006/07シーズンにおけるインフルエンザウイルス分離の週別推移 (2006年第36週～2007年第5週)

## 麻疹

麻疹は、空気感染(飛沫核感染)、飛沫感染、接触感染と様々な感染経路を示す疾患であり、その感染力は極めて強い。通常は、10日間前後の潜伏期を経て、カタル期(2～4日間)、発疹期(3～5日間)、回復期へと移行する。しかし、最近では麻疹ワクチン接種者の一部に修飾麻疹が認められ、この場合は発熱、発疹共に軽微であることが多く、麻疹とは気付かれないままに周囲への感染源となっている場合が少なくないと思われる。

感染症発生動向調査による小児科定点からの麻疹報告数は、2006年1年間では519例(暫定値)であり、2005年の537例に続いて、2年連続して1,000例以下となり、2007年に入っても定点当たり報告数は少ない状態が続いている(図1)。しかしながら、麻疹の地域的な流行は散発しており、2006年春～夏季に千葉県や茨城県等で発生がみられた(「関東における麻疹の集団発生」IDWR週報2006年第16週)。2006年第36週～2007年第5週の約5カ月間では、報告数は164例であった。これを都道府県別にみると、埼玉県が34例と最多であり、次いで愛知県(26例)、東京都(14例)、神奈川県(12例)、茨城県(10例)、千葉県(9例)の順であり、関東地方における発生が目立っている(図2)。特に埼玉県では2006年第48週以降、ほぼ継続的に発生がみられており、また、近隣の東京都、千葉県、神奈川県の関東南部地域でも、同時期に発生がみられている(図3)。また、成人麻疹は2006年第36週以降これまでに、全国の基幹定点から20例の報告があった。これを都道府県別にみると埼玉県(4例)、東京都(3例)、神奈川県(3例)、宮城県(3例)、長野県(2例)、沖縄県(2例)の順であるが、埼玉県、東京都、神奈川県では全てが2006年第47週以降の報告である。

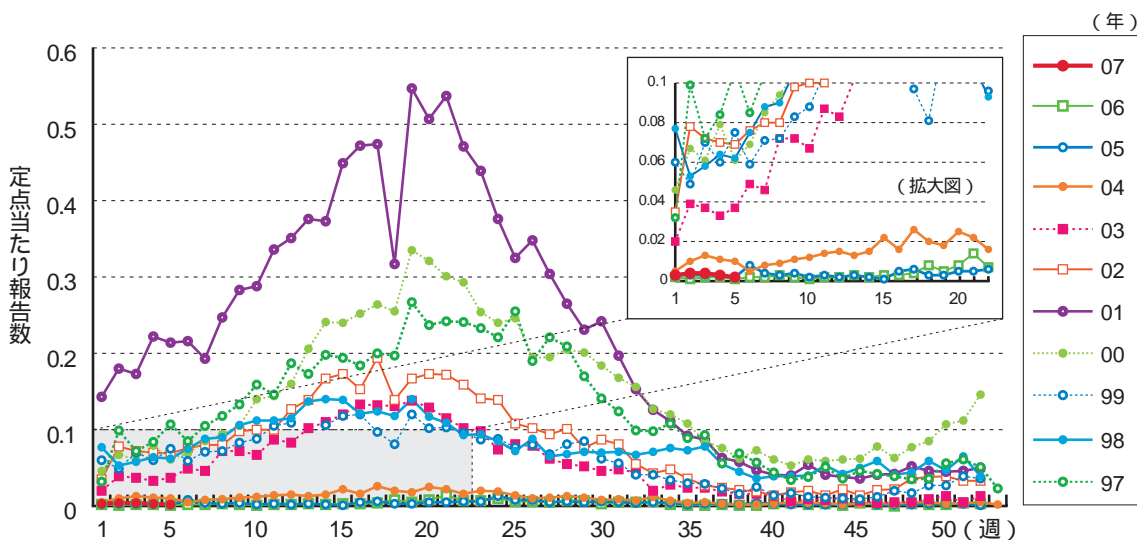


図1. 麻疹の年別・週別発生状況(1997年～2007年第5週)



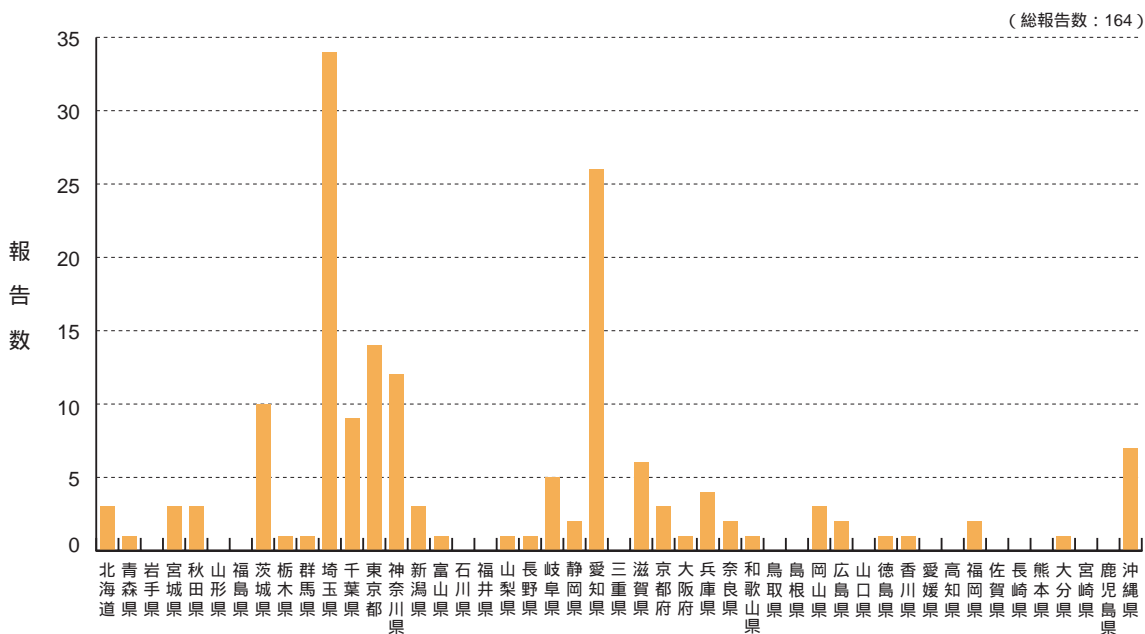


図2. 麻しんの都道府県別累積報告数(2006年第36週～2007年第5週)

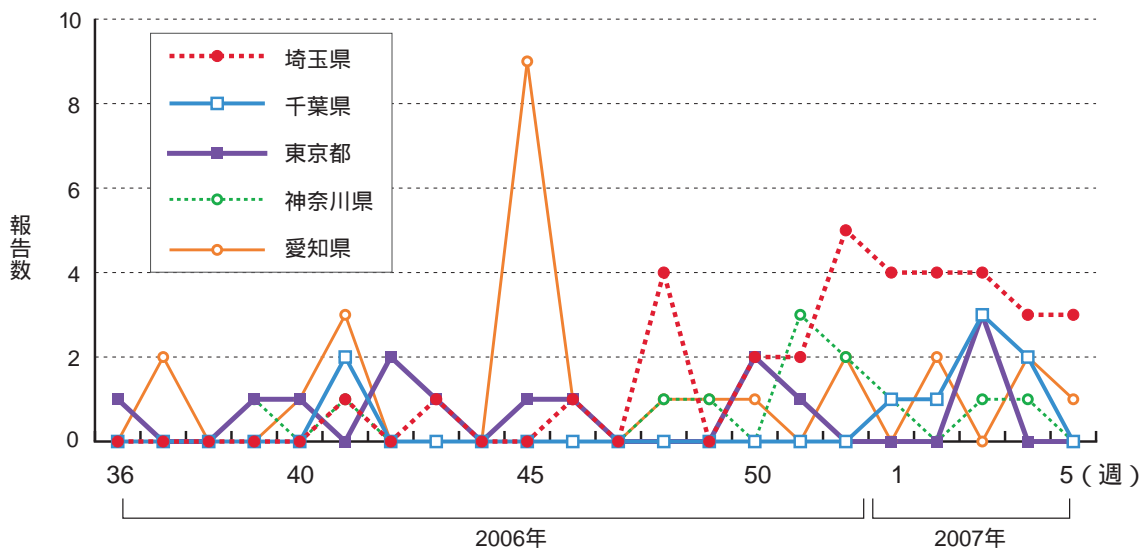


図3. 主要都道府県における麻しんの報告の週別推移(2006年第36週～2007年第5週)

麻疹は2003年以前においては、秋期に発生が最も減少し、春～夏季に流行する疾患であった。しかし、埼玉県を含めた関東南部地域では、冬季である現時点において既にほぼ継続的な発生がみられており、今後春～夏季に更に同地域を中心として流行が拡大し、更に周辺地域へ波及する可能性もあると思われる。

2004年以降、麻疹ワクチン接種率の向上により、麻疹の報告は大きく減少してきており、発生動向調査については、従来の小児科定点における定点把握から、全ての医療機関に報告を求める全数把握方式への転換を考慮すべき時期とも思われる。加えて、2006年4月からは麻疹風疹混合ワクチン(MRワクチン)が導入され、同年6月からは麻疹関連ワクチン(MRワクチン、麻疹単抗原ワクチン)の定期予防接種としての2回接種制度が開始された。WHOは、日本を含む西太平洋地域において、2012年までに麻疹を排除(elimination)することを目標としている。日本国内の発生状況からしても、麻疹は国内からの排除を目標とし、そのために国内での発生を積極的に阻止すべき疾患へと変わりつつあるが、最近の状況をみると、その目標達成は必ずしも容易とは思われない。麻疹の発生を阻止するためには、2回接種を含めた麻疹関連ワクチンのより積極的な勧奨と、1例の発生でもすぐに対応を講じる等の対策が重要である。今後の麻疹の発生動向には、より注意深い観察が必要である。



## 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2007年2月8日現在報告分)

### インフルエンザウイルス 2006/07シーズン

例年に比べて立ち上がりが遅いが、2007年に入ってからAH3亜型が増加している。

第36週からの累計ではAH1亜型34件、AH3亜型200件、B型110件が報告されている(PCR/抗原検出によるAH1亜型4件、AH3亜型9件、B型4件を含む)。

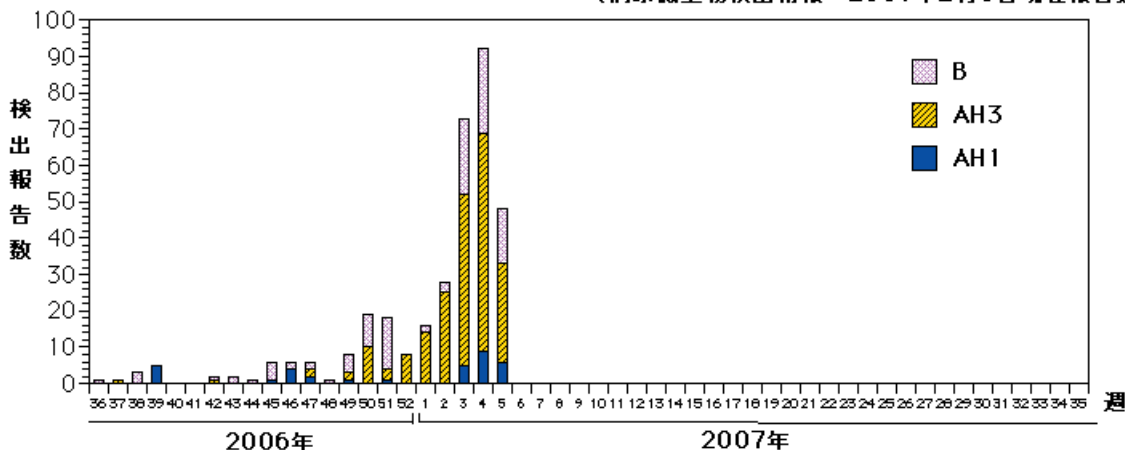
AH1亜型: 第39～51週に14件、2007年第3週5件、第4週9件、第5週6件が報告されている。第3～5週では神奈川県5件、埼玉県、兵庫県各4件、佐賀県3件、福岡県2件、東京都、広島県各1件が報告されている。

AH3亜型: 第37～52週27件、2007年第1週14件、第2週25件、第3週47件、第4週60件、第5週27件が報告されている。第2～5週の4週間では宮城県19件、北海道17件、大阪府16件、静岡県15件、神奈川県12件、兵庫県9件、埼玉県、富山県、三重県各7件、山形県、茨城県、広島県各6件など26道府県から報告されている(韓国(2件)、中国(1件)、マレーシア(1件)への渡航歴が有る者を含む)。

B型: 第36～51週46件、2007年第1週2件、第2週3件、第3週21件、第4週23件、第5週15件が報告されている。第2～5週の4週間では静岡県11件、神奈川県10件、兵庫県7件、愛知県、三重県各6件、富山県、大阪府、岡山県各4件、広島県3件など14府県から報告されている。

### 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2006/07シーズン

(病原微生物検出情報: 2007年2月8日現在報告数)



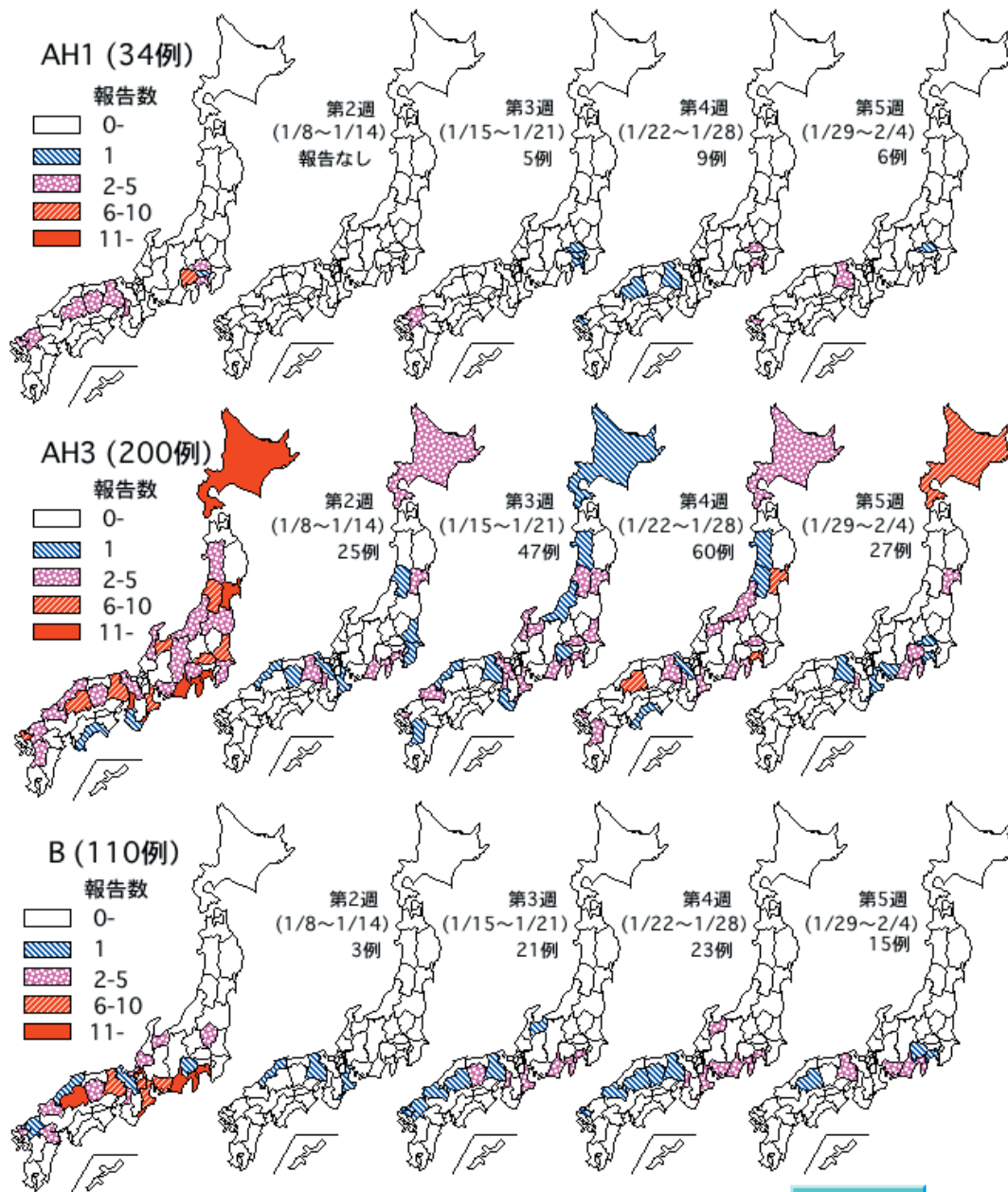
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を因に示した



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2006/07シーズン

(病原微生物検出情報：2007年2月8日現在報告数)



\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

**感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン**

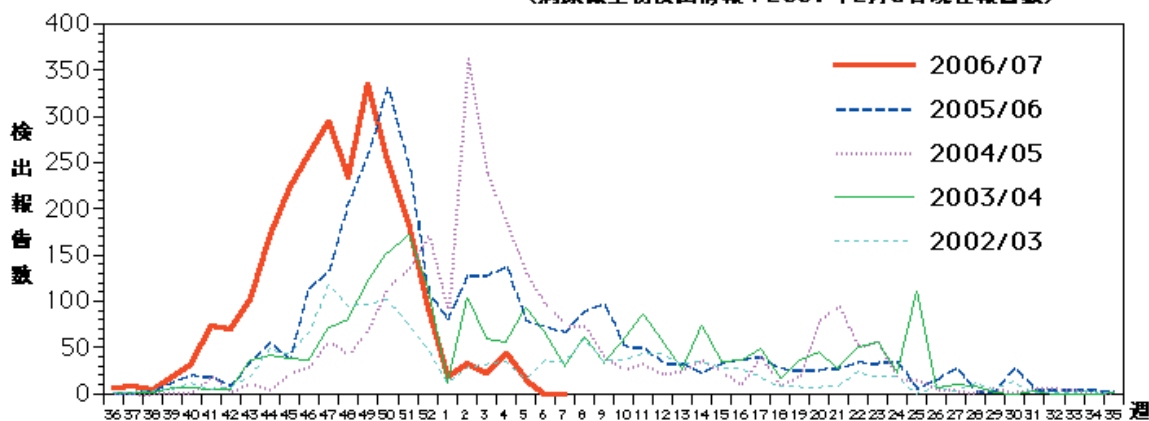
例年より早く2006年第41週より増加が始まり、第36週からの累計ではノロウイルスgenogroup IIが2,298件、genogroup Iが29件、サポウイルスが41件、A群ロタウイルスが44件報告されており、ノロウイルスgenogroup IIが大勢を占めている。

ノロウイルスgenogroup IIは大阪府339件、神奈川県237件、岩手県183件、滋賀県179件、京都府152件をはじめ、広島県、愛媛県、岡山県、高知県、秋田県、福岡県など、39府県から報告されている。genogroup IIは香川県10件、大阪府5件など、15府県から、サポウイルスは熊本県13件、高知県9件、神奈川県6件など10県から、A群ロタウイルスは千葉県10件、東京都9件、京都府、熊本県各5件など14都府県から報告されている。

また、ノロウイルスgenogroup IIによる施設内感染、食中毒などの集団発生の報告が増加しており、これまでに9月に5事例、10月に60事例、11月に235事例、12月に180事例、2007年1月に23事例、計503事例が報告されている(このうち10月、11月の各1事例、12月の3事例ではgenogroup IとIIを検出)。

検出されたgenogroup IIのノロウイルスについて、さらに遺伝子型別まで実施された96事例中92事例はGII/4と報告されている(他には10月にGII/9が1事例、11月にGII/2とGII/6が各1事例、1月にGII/2が1事例)。また、10月の1事例、12月の3事例ではgenogroup Iが検出され、11月の10事例、12月の4事例のgenogroupは不明である(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.html>)。

**週別SRSV(ノロウイルス、サポウイルス) 検出報告数、過去4シーズンとの比較、2002/03-2006/07シーズン**  
(病原微生物検出情報：2007年2月8日現在報告数)



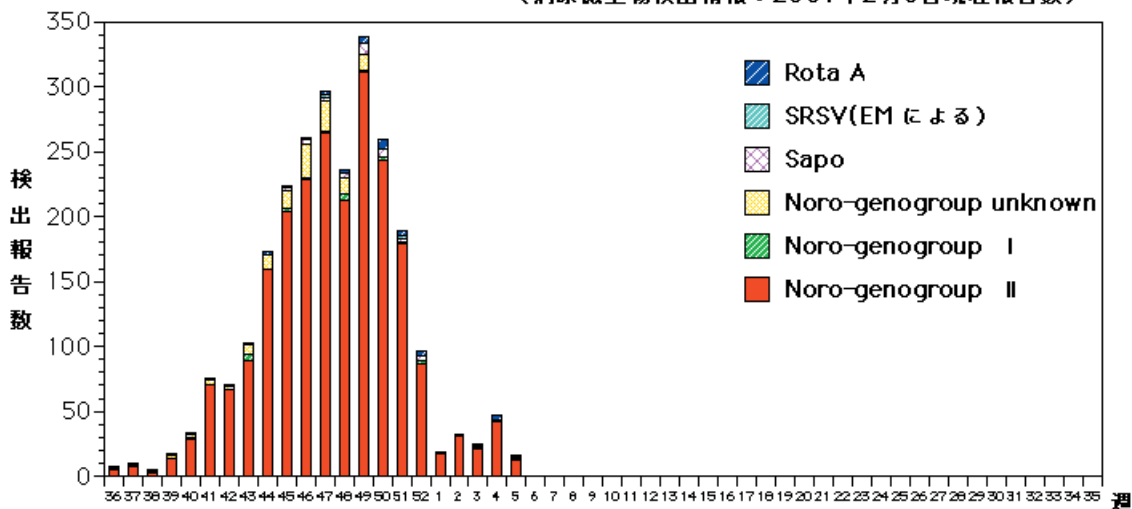
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

**週別SRSV&ロタウイルスの検出報告数、2006/07シーズン**

(病原微生物検出情報：2007年2月8日現在報告数)



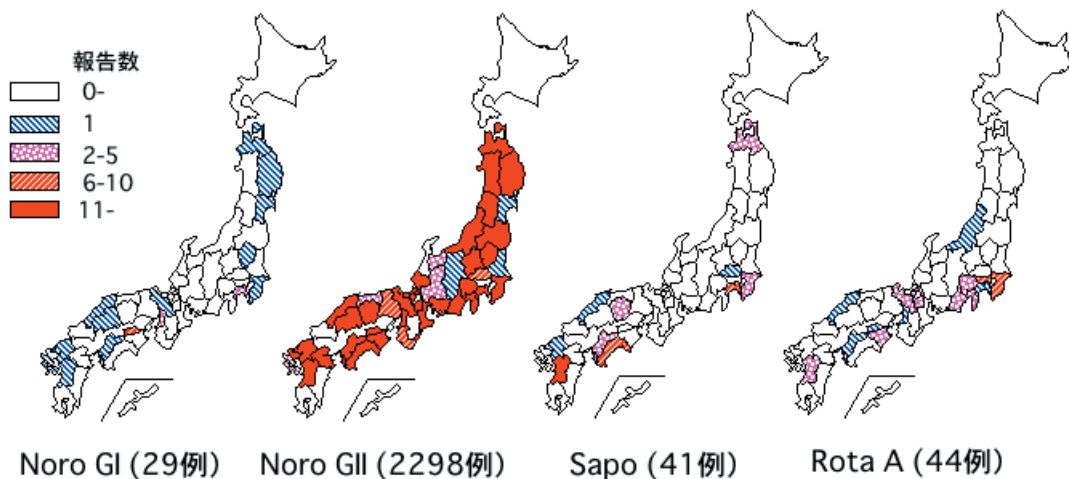
\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

**都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2006/07シーズン**

(病原微生物検出情報：2007年2月8日現在報告数)



\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report



## 2006年度第2期麻しん・風しんワクチン接種に関する全国調査 - 2006年10月1日現在中間評価 -

2006年4月1日施行の予防接種に関する政省令の一部改正により麻しん風しん混合ワクチン(以下、MRワクチン)を用いた定期接種が可能となり、同年6月2日から、わが国においてもようやく麻しんおよび風しんワクチンの2回接種が定期接種に導入、開始された。接種対象者は、第1期が1歳児、第2期が5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間にあたるものとされた。しかし一方で、2回接種法開始の初年度であるということ、年度内の数回にわたる予防接種に関する政省令の一部改正に伴い、医療や行政の現場において混乱が生じている可能性があることなどから、第2期の接種率の低迷が予想された。

そこで我々は、全国の市町村(特別区)の現状を把握するために、初年度の第2期麻しん・風しんワクチン接種率に関する調査「第2期麻しん風しんワクチン接種に関する全国調査」を2006年10月1日現在と、2007年3月31日現在の2回にわたり実施することを計画した。1回目の中間評価として、2006年10月1日現在の第2期麻しん・風しんワクチン接種率の全国調査結果に関して報告する。

方法は、往復はがきを用いた質問票調査で、全国1,843市町村(特別区)(2006年4月1日現在)を対象に、2006年10月1日までに実施した制度改正に関する保護者への周知方法、2007年度小学校入学予定人口、接種者数(第2期MRワクチン、第2期麻しん単抗原ワクチン、第2期風しん単抗原ワクチン)に関して、2006年12月15日に調査票を配布し、回収した。

2007年1月31日までに1,467の市町村(特別区)から返信(回収率:79.6%)があった。そのうち、接種率に関する有効回答数は1,455(78.9%)で、2006年10月1日現在の第2期対象者における麻しんを含むワクチンの接種率〔第2期MRワクチン接種者数+第2期麻しん単抗原ワクチン接種者数〕/2007年度小学校入学予定人口〕は29.4%、同様に風しんを含むワクチンの接種率〔第2期MRワクチン接種者数+第2期風しん単抗原ワクチン接種者数〕/2007年度小学校入学予定人口〕は29.9%であった。接種したワクチンの種類を見ると、麻しんを含むワクチン接種者数のうち、MRワクチンが99.6%、麻しん単抗原ワクチンが0.4%、風しんを含むワクチン接種者のうち、MRワクチンが97.8%、風しん単抗原ワクチンが2.2%を占めていた。2006年10月1日現在の都道府県別の接種率を第2期MRワクチン接種率が高い順に見ると、最も高かったのは徳島県(第2期MRワクチン接種率:42.2%)で、香川県、石川県、新潟県の順であった。それ以外の都道府県ではすべて40%未満であった。一方、最も低かったのは沖縄県(第2期MRワクチン接種率:12.1%)で、大分県、宮崎県、北海道、秋田県でも18.0～20.8%と低かった。詳細はIASRに全国の結果を表に示しているので参照いただき、今後の接種率向上に努めて頂きたい。

複数回答可〔「その他(自由記載)」を含む6択〕で行った周知に関する質問では、有効回答数1,466(79.5%)のうち、2006年10月1日までに対象者に何らかの「お知らせ」をした市町村(特別区)は1,398(95.4%)、しなかった市町村は68(4.6%)であった。周知したと回答のあった市町村(特別区)における麻しんを含むワクチンの第2期接種率は29.8%、風しんを含むワクチンの第2期接種率は30.3%であったのに対し、周知をしなかったと回答した市町村(特別区)における麻しんを含むワクチンの第2期接種率は13.6%、風しんを含むワクチンの第2期接種率は14.7%であった。周知方法として、83.2%の市町村(特別区)が個別通知を行っていた。

最後にコメント欄を設け、自由記載とした結果、305の市町村が何らかの記載をしていた。内容は、2006年10月1日以降の周知・接種状況に関するものが263、制度改革に関するコメント・要望が23、担当者の考察・感想が7、その他が12であった。2006年10月1日以降の接種状況に関して、「9月の補正予算後に定期接種として実施するため、接種は2006年10月1日以降となる」といったものが多く見られた。制度改革に関するコメント・要望はすべてが、制度改革による現場の混乱を示すものであった。その他には、担当者が2回接種開始や制度改革そのものを理解していなかったが、本アンケート調査が実施されたことによって、制度が変更されたことに気付いたというものもあった。

以上の結果から、2006年10月1日現在の第2期麻しん・風しんワクチンの接種率は全国的に非常に低く、2回接種開始初年度の接種率は、積極的な接種勧奨を実施しなければ、低いまま次年度を迎えることが懸念された。2007年3月31日までに、全国的な接種率向上に向けたさらなる取り組みが必要と考えられる。医療従事者や保護者への接種制度の改正に関する情報提供はもちろんのこと、2回接種の必要性に関する知識の普及も「小学校入学前には麻しんと風しんの予防接種を受けに行く」という行動を促す上で、非常に重要であると考えられる。さらに、接種率向上に向けた周知方法の再検討と2007年3月31日までにできる限り一人ひとりに情報が届くようなきめ細やかな対応、およびそれを可能にする予算ならびに接種体制の確保が必要と考えられる。

数回にわたる予防接種制度の改正が現場に混乱を生じさせている現状が、一部の自由記載から読み取れた。制度改革により、予算確保が必要となるだけでなく、予算が確保され接種が可能となる時期によっては接種可能期間の短縮という問題が生じ、結果的に初年度の接種率の低迷と、それによる接種もれ者数の増大を助長させると考えられた。さらに、制度改革が短期間に複数回認められた場合、医療や行政の現場だけでなく、保護者に混乱が生じるのは必至で、それがいかにより良い改正であったとしても、理解され難い、信用されない、という悪影響を与える可能性がある。これらの点からも、今年度は特に、よりきめ細やかな個人への対応が必要である。

現在、国立感染症研究所感染症情報センターでは第2期麻しん・風しんワクチン接種を呼びかけるポスターを作成し、ホームページ上で公開、ダウンロードして使用可能としている (<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn07.html>)。今後2007年3月31日まで、いかに接種率を向上させることができるか、国全体での取り組みが必要と考えられる。2007年5月に予定している2007年3月31日時点(今年度最終評価)の接種率がどのような結果になるか、2007年10月1日以降の接種勧奨の評価という点においても、非常に興味深い。その結果は、解析が終了次第、本速報にて還元予定である。

最後に、本調査にご協力いただいた市町村(特別区)の関係者の皆様にお礼を申し上げるとともに、2007年5月に予定している最終評価のための調査にも是非ご協力いただければ幸甚である。

国立感染症研究所感染症情報センター 上野久美 多屋馨子 岡部信彦

(IASR 2007年3月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)





## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年2月6日 更新3

エジプト保健人口省は、新たな鳥インフルエンザA(H5N1)感染患者1名を発表した。患者はエジプト中央公衆衛生研究所、および米国海軍医学研究所Unit No. 3(NAMRU-3)で確定された。

Fayyounm行政区域の17歳女性が2007年1月25日に発症し、最初に通常のインフルエンザとしての治療を受けた。患者は2月1日に発熱および呼吸困難で入院し、2月2日に死亡した。患者の感染源の初期調査では、発症前に自宅で病鳥や死鳥に接触したことが示唆されている。

これまでにエジプトで感染が確定された20名のうち、12名が死亡している。

### トーゴで黄熱の流行

WHO/EPR 2007年2月12日 更新3

トーゴのSavanesおよびKara地域では、検査で黄熱患者3名が確定されているが、そこで2月12日に集団ワクチン接種が行われる予定である。これらの地域では、黄熱は20年以上も発生していなかった。

この集団ワクチン接種は2地域の11地区で、9カ月齢以上の子供を対象に行われる。今回のワクチン(150万回分)は、「黄熱制圧のためのワクチン供給の国際調整グループ」を通して「GAVI連合」緊急備蓄から供給される。ECHOはこのキャンペーンに対して、財政的支援を行っている。

1月下旬に新たに黄熱患者2名が報告された。1名はKara地域(Kozah地区)、他の1名はMaritime地域(Lacs地区)からである。両名ともに、セネガルのダカールにあるパスツール研究所での検査で確定された。

調査は保健省により、WHOアフリカ地域事務局およびWHOトーゴ事務所の支援を受けて行われた。Maritime地域でのワクチン接種キャンペーンを含む黄熱封じ込め対策については、現在その評価が行われている。

### チャドでポリオ患者発生

WHO/EPR 2007年2月7日

2007年1月23日現在、チャド保健省は新たなポリオ患者1名(3型)を確定した。チャドでは、2005年12月以来のポリオ患者の発生である。2006年11月26日に、N'Djamenaの2歳の少女が麻痺を発症した。分離されたポリオウイルスの遺伝子配列からは、ナイジェリア北部で感染循環しているポリオウイルスと類似することが示唆されている。

保健省はポリオ患者の確定を受けて、2007年1月25～28日に全国で集団ワクチン接種キャンペーンを行い、5歳以下の約250万人に接種を行った。次回のポリオワクチン接種キャンペーンは、2007年2月24～26日に予定されている。

### ブルキナファソで髄膜炎菌感染症の流行

WHO/EPR 2007年2月7日

保健省は2007年1月1～31日の期間に、ブルキナファソ国内で死亡者96名を含む髄膜炎菌感染症疑い患者789名の発生を報告した。Ouargaye地区では罹患率が疫学閾値を超え、別の3地区のBanfora、Batie、Sapouyでは警戒域となっている。

ラテックス凝集試験による髄液検査で、髄膜炎菌血清型A群が陽性であった。

保健省は今週、Ouargaye地区でワクチン接種キャンペーンを行う予定である。

### ジャマイカでマラリアの流行

WHO/EPR 2007年2月9日

ジャマイカ保健省は、2006年11月6日～2007年2月3日の期間に、熱帯熱マラリア患者280名を確定した。報告された患者のうち264名がKingston、12名がSt Catherine、3名がSt Thomas、1名がClarendonで発生した。マラリアによる死亡者は報告されていない。

保健省は、WHOジャマイカ事務所の調整により、WHO南北アメリカ地域事務局からの技術協力を受け、また強化サーベイランスの実施や、蚊の刺咬を防ぐ適切な予防措置に関する情報を地域社会に提供するために、カリブ海疫学センターからの支援を受けている。さらに、媒介蚊対策も行われている。

ジャマイカでの流行は制圧されつつあり、感染伝播はまもなく終わると見込まれている。しかしながら、保健省は強化サーベイランス活動を続ける予定である。

ジャマイカはマラリアの常在流行地ではない。今回の流行の発生は、マラリアが流行していない国におけるサーベイランスの重要性を示すものである。

WHOはジャマイカへのおよびジャマイカからの旅行や貿易に関して、特別な制限は勧告してはいない。



## 感染症の話

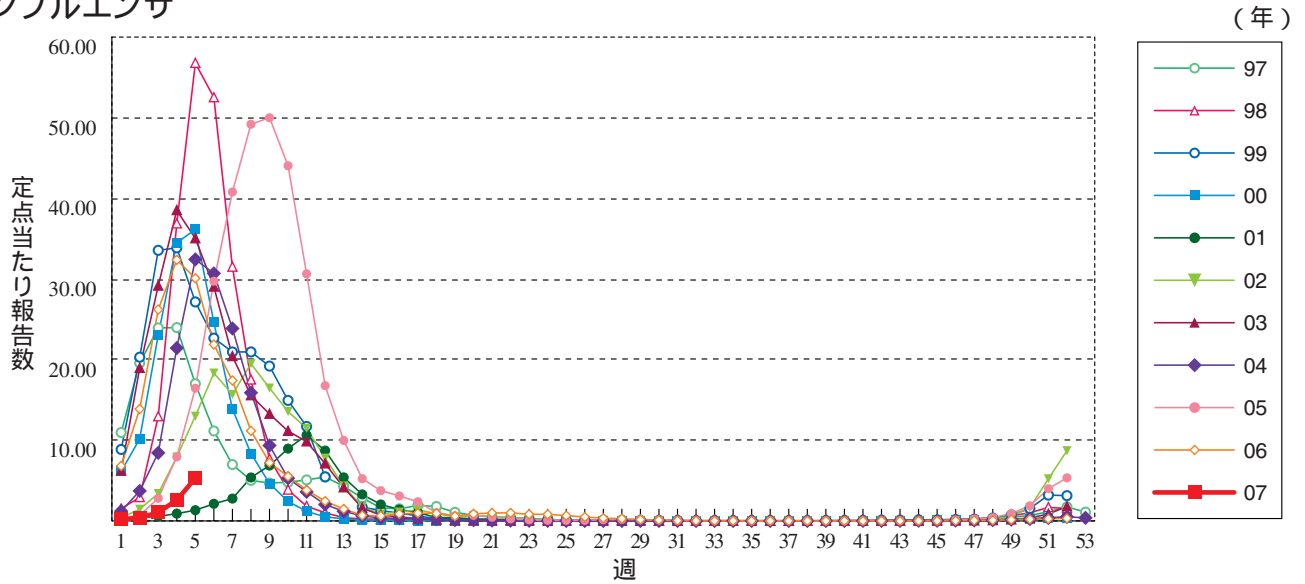
\*\*\*\*\*

今週はお休みさせていただきます。  
「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>  
でご覧いただけます。

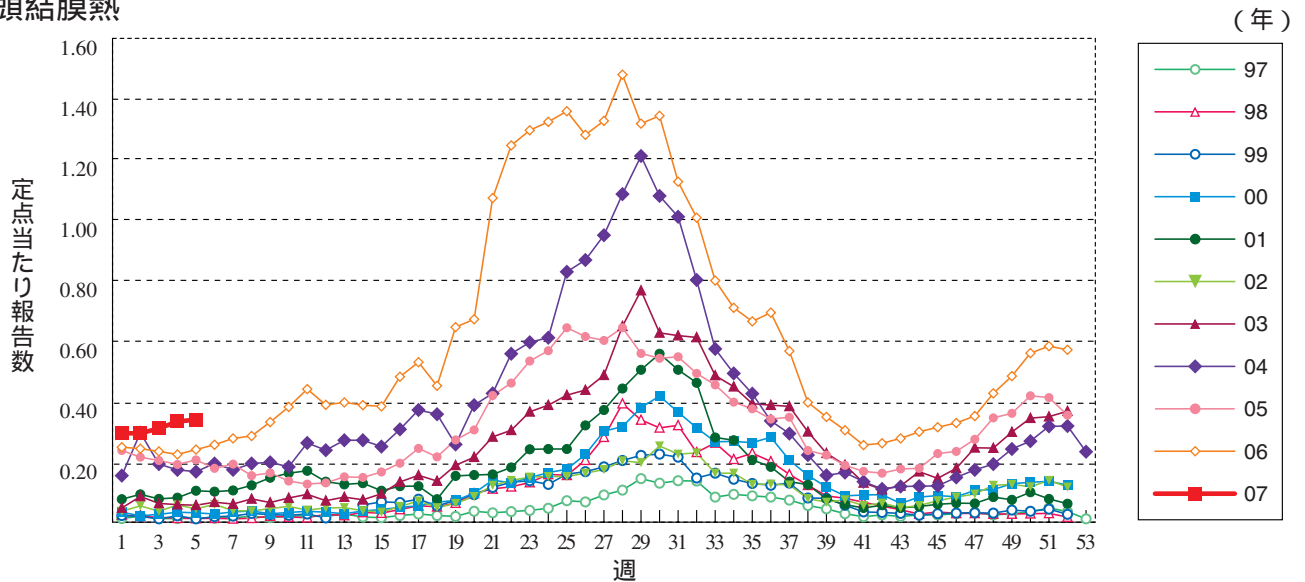
\*\*\*\*\*

**グラフ総覧(5週)**

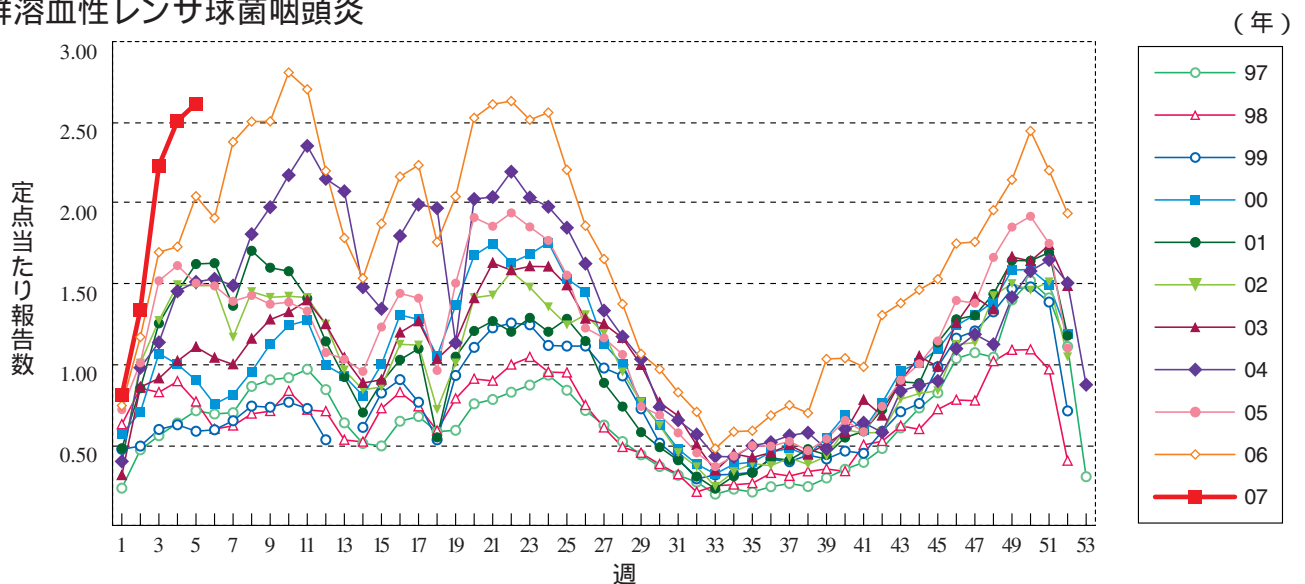
**インフルエンザ**



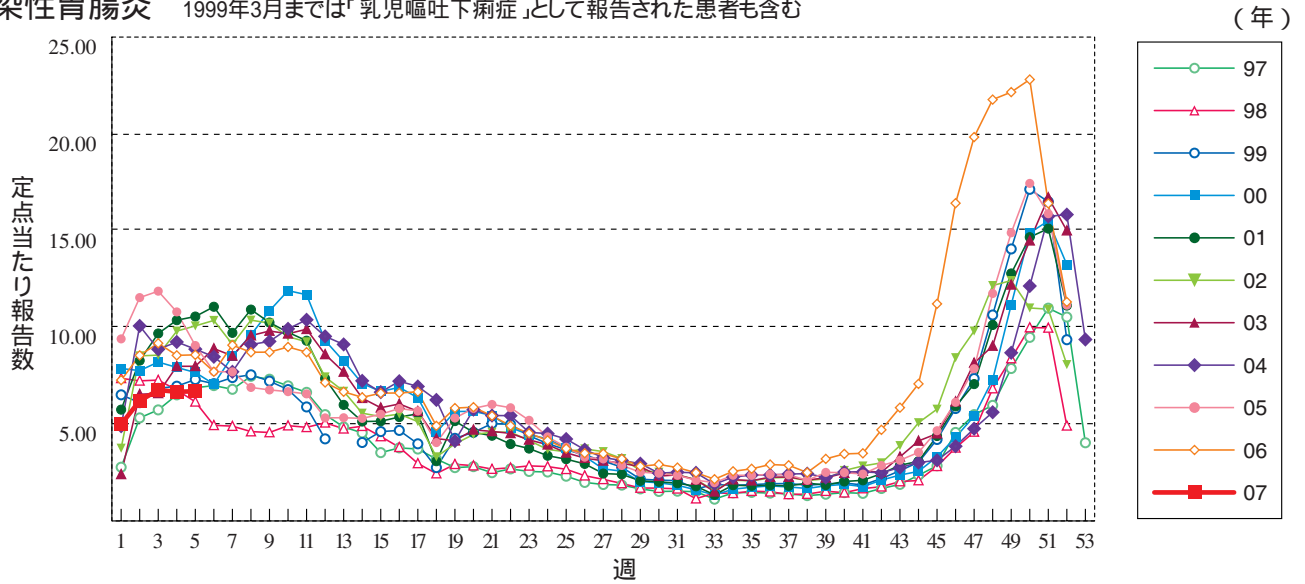
**咽頭結膜熱**



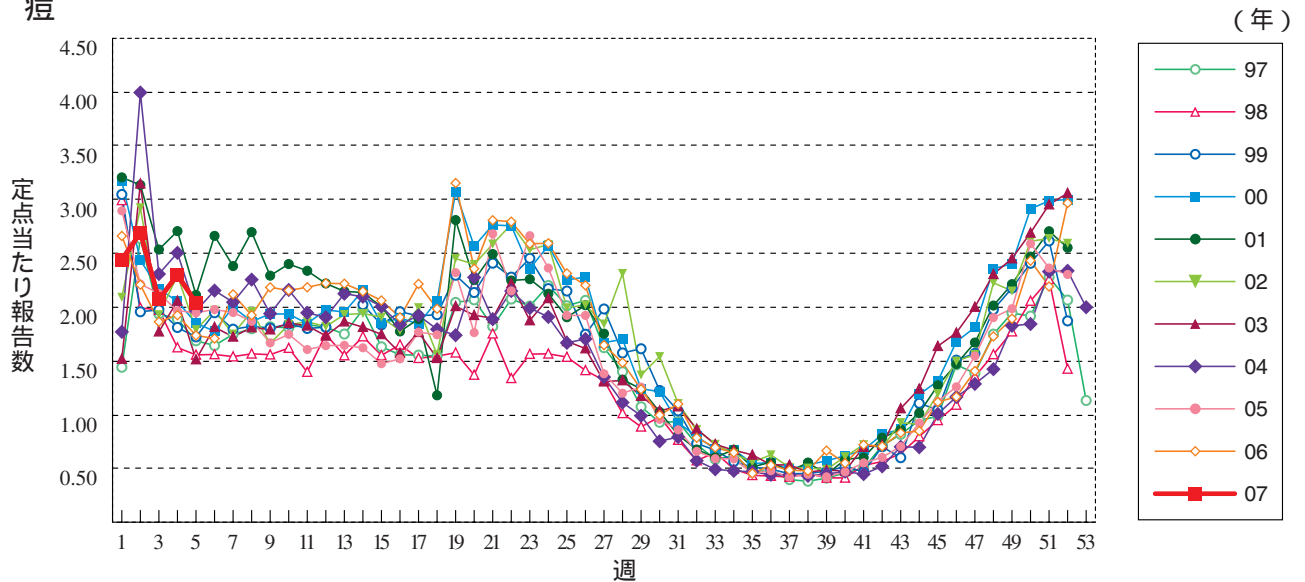
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



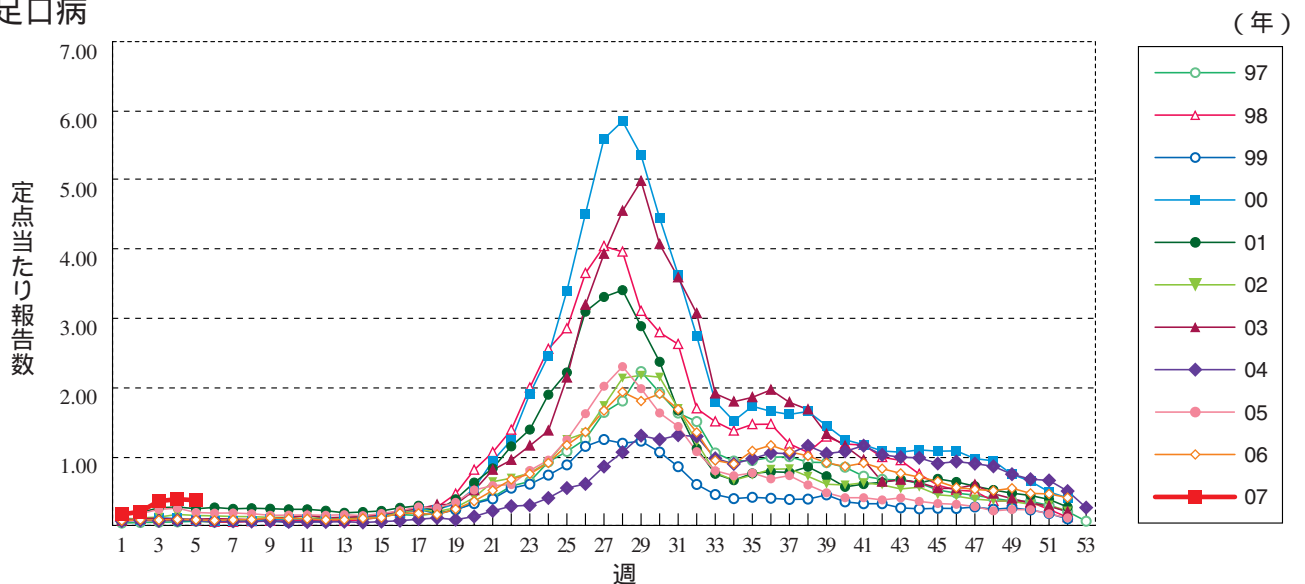
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



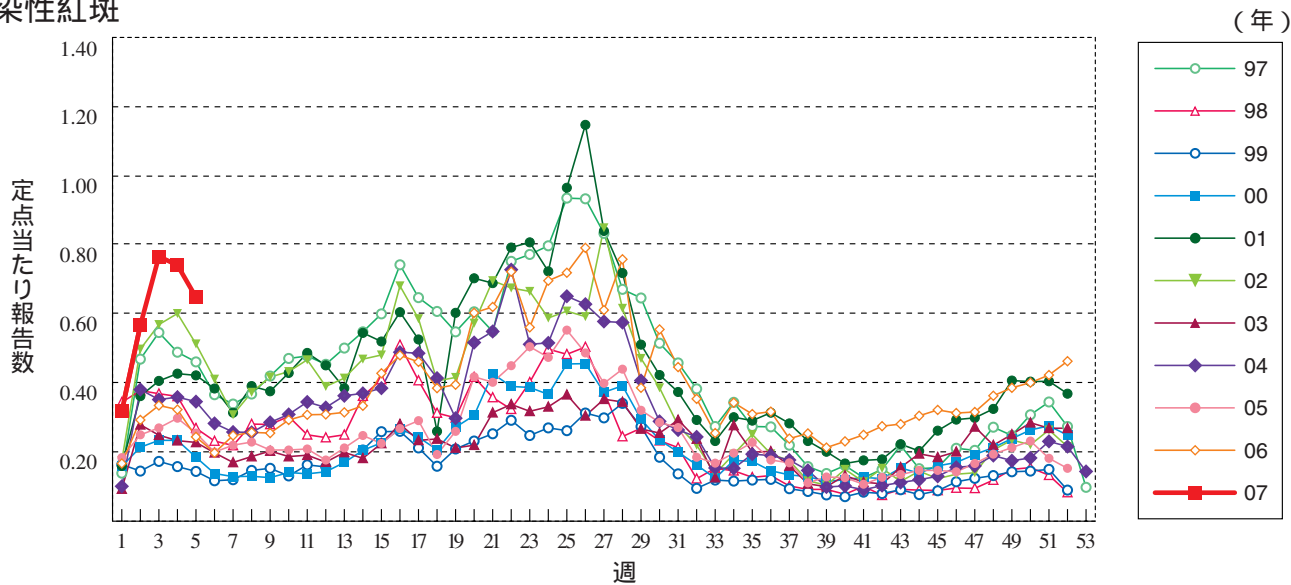
**水痘**



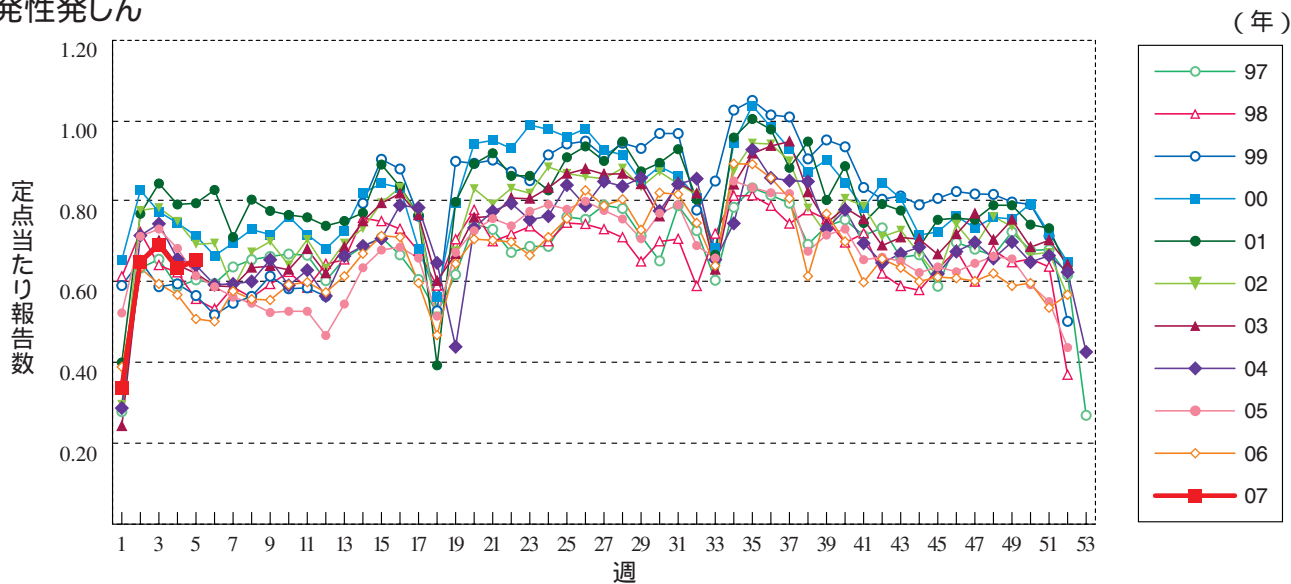
**手足口病**



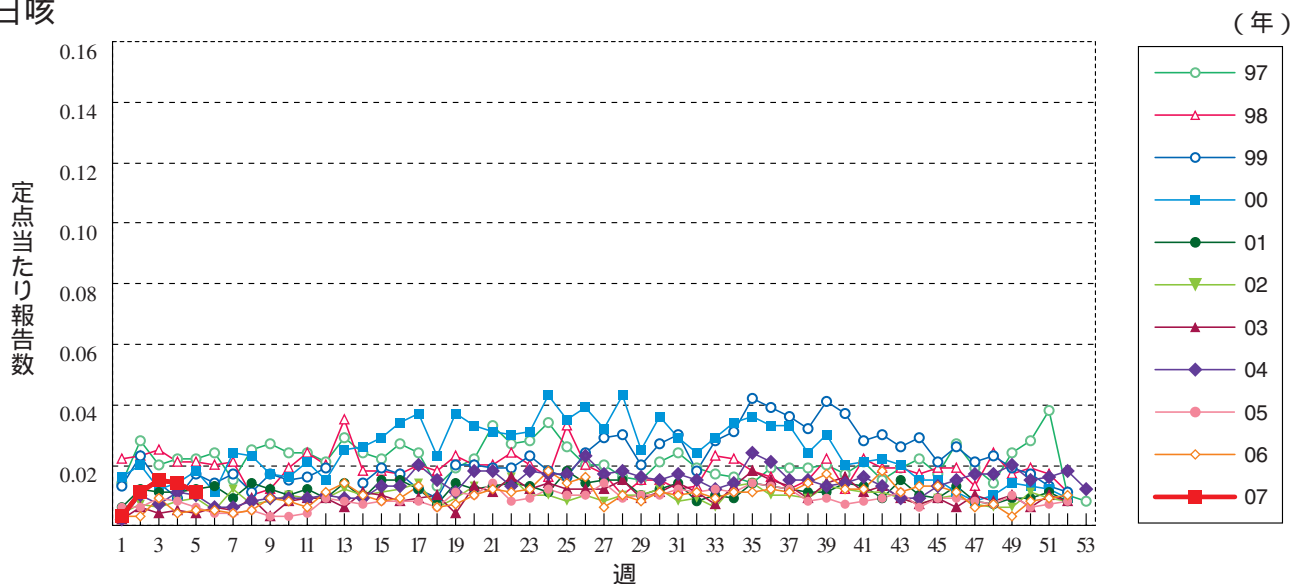
伝染性紅斑



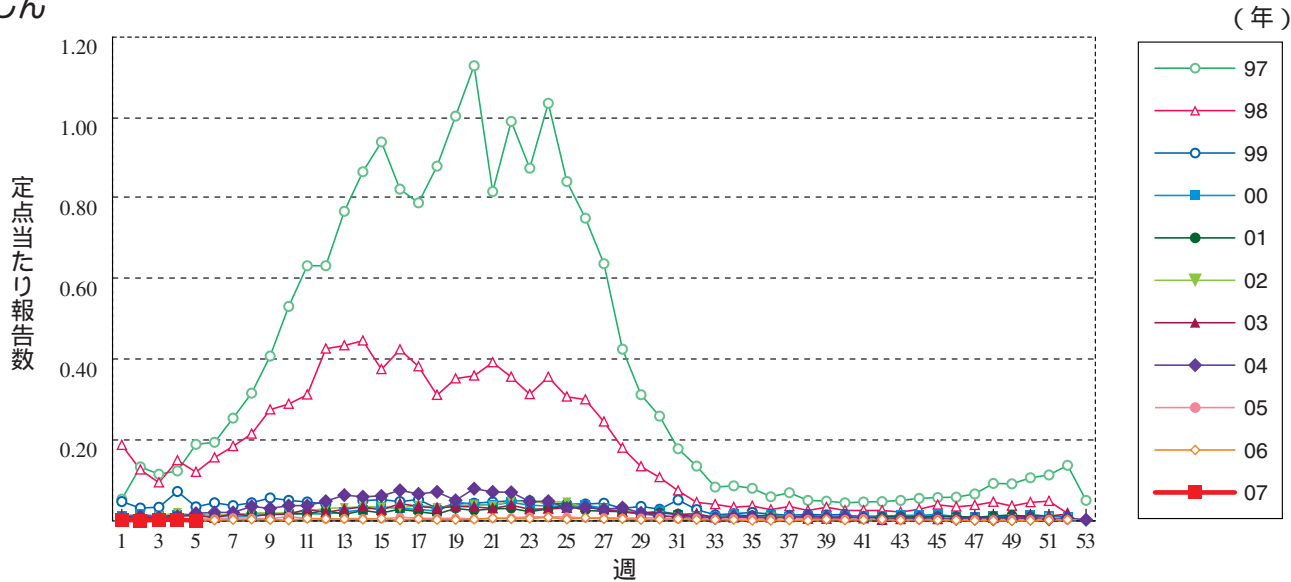
突発性発しん



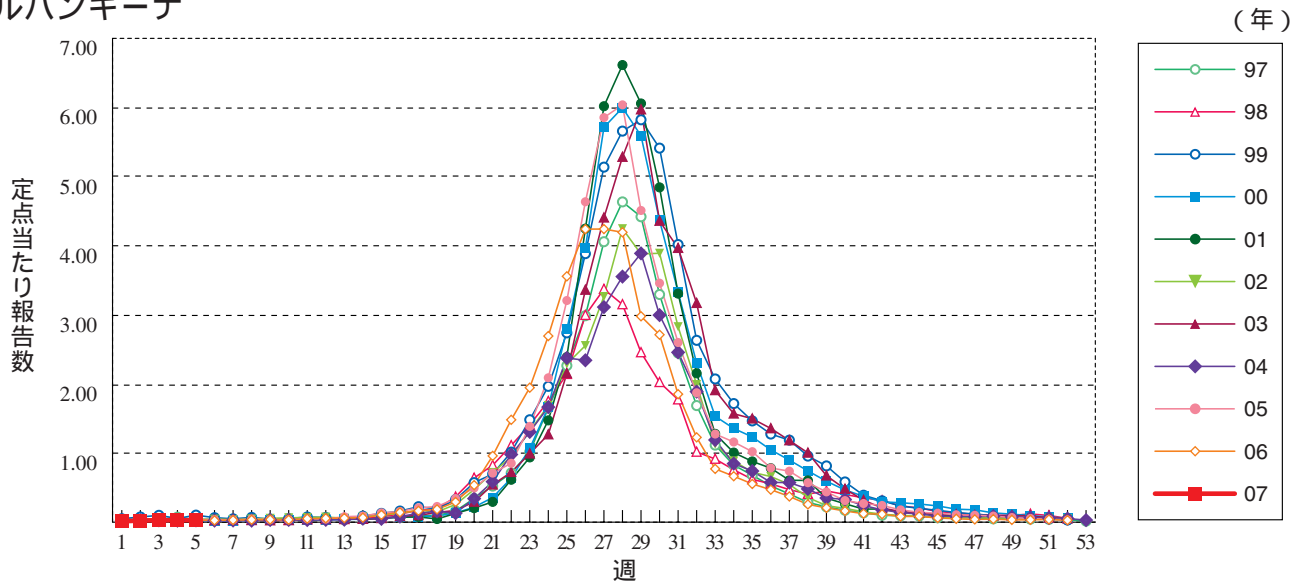
百日咳



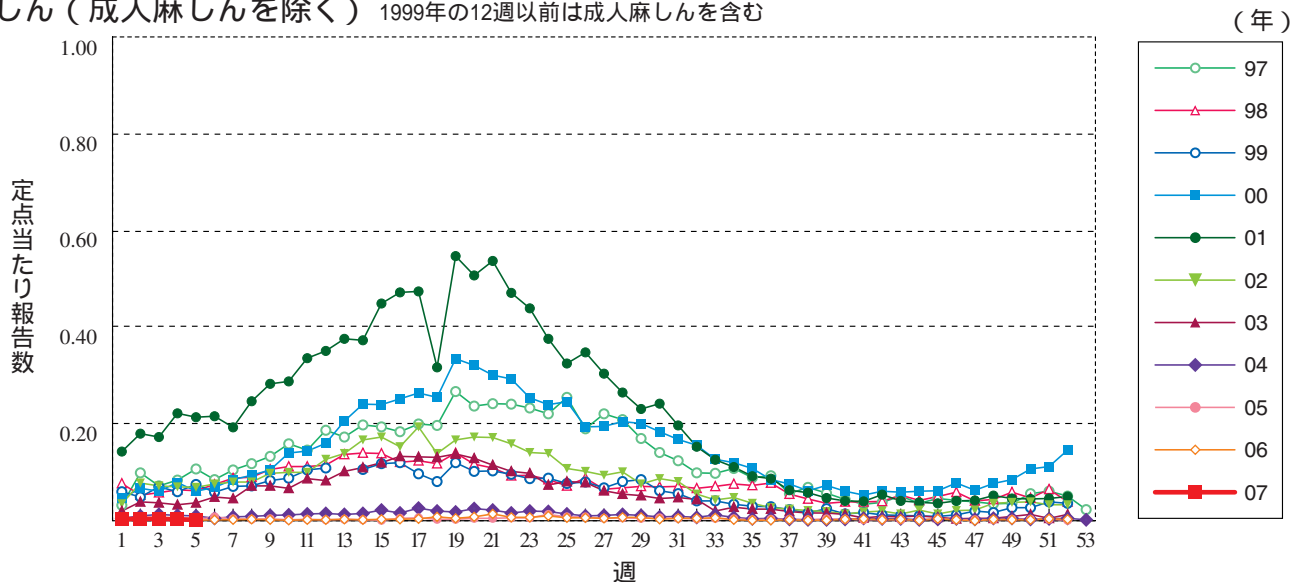
風しん



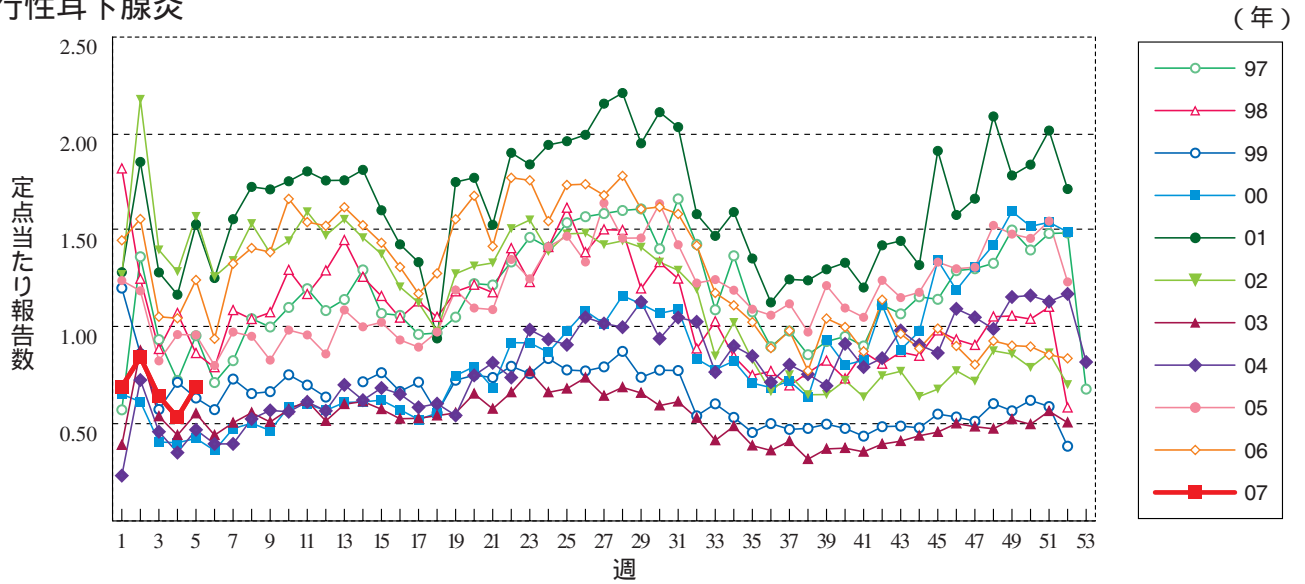
ヘルパンギーナ



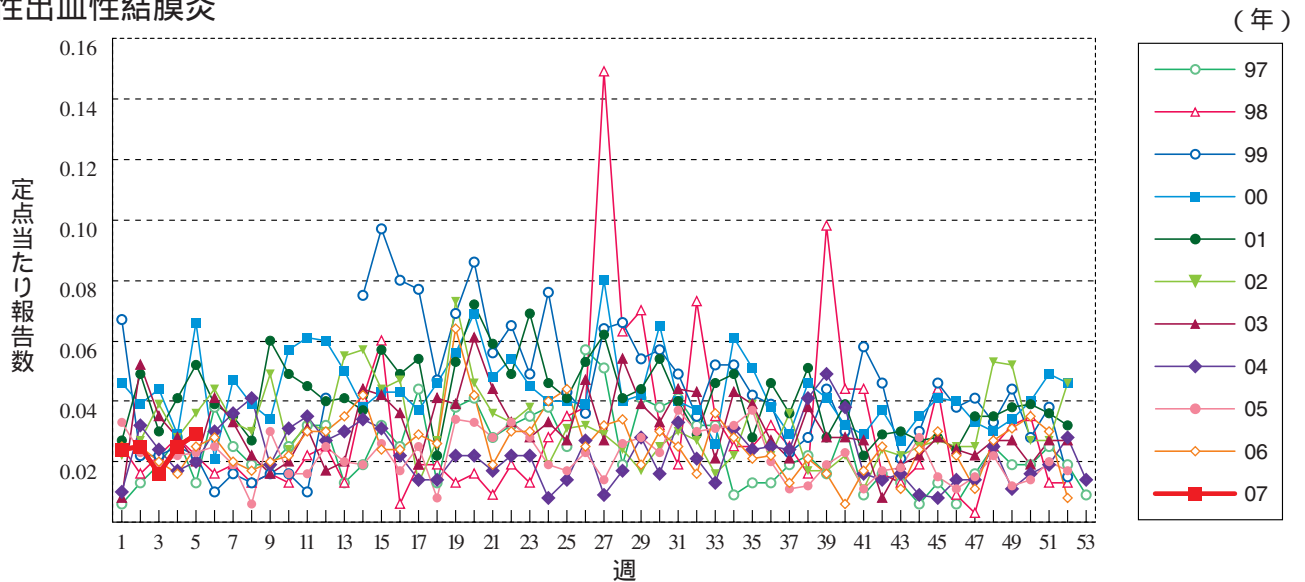
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



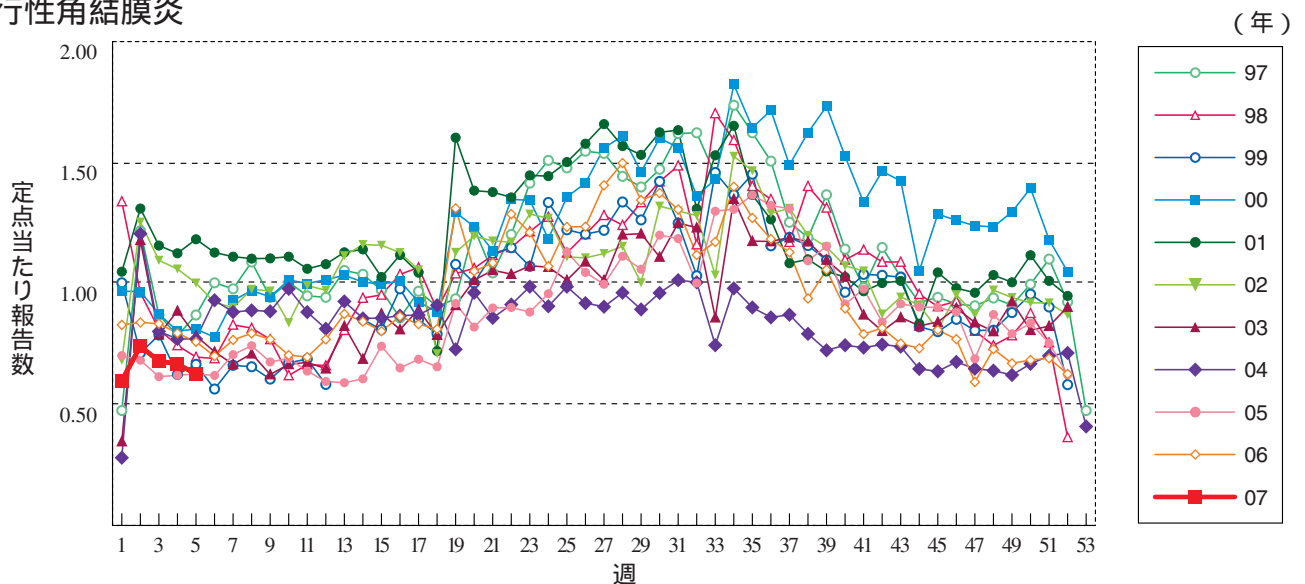
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



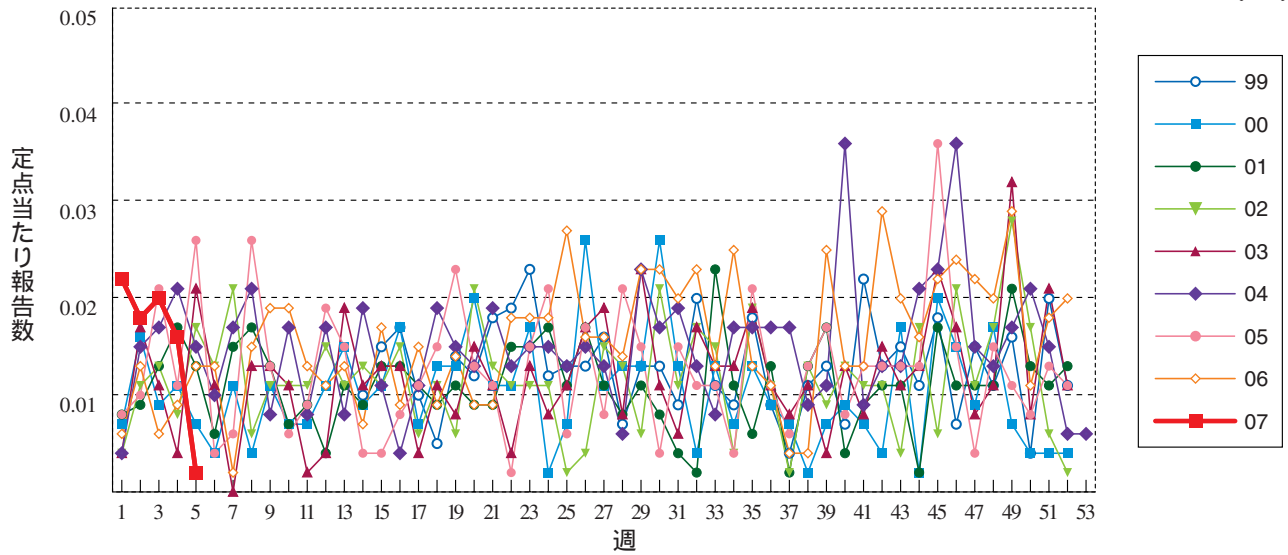
流行性角結膜炎





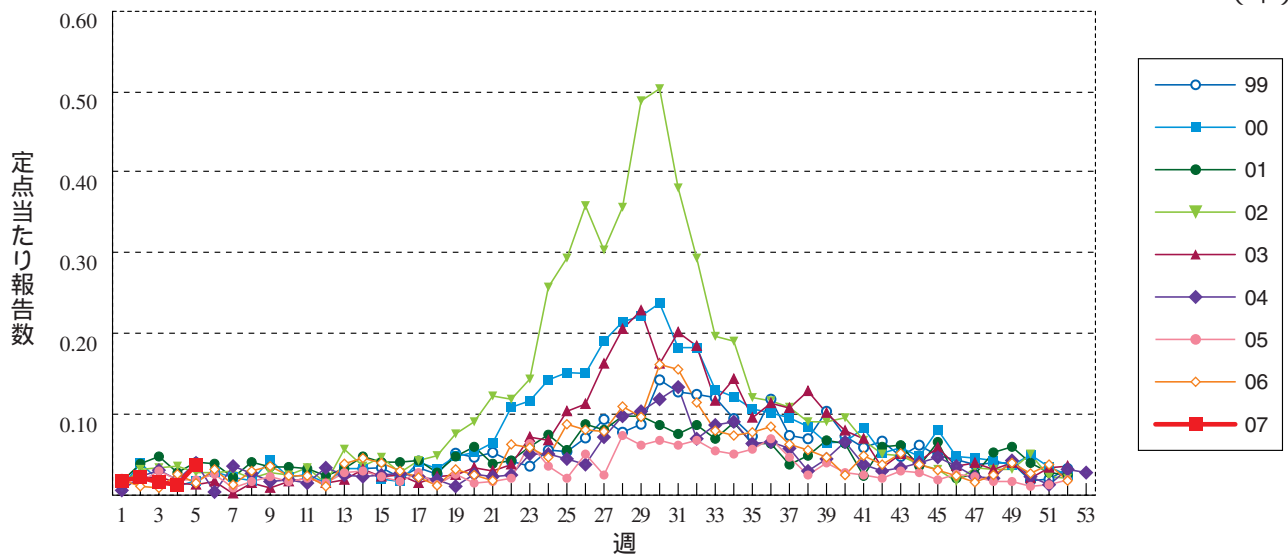
細菌性髄膜炎

(年)



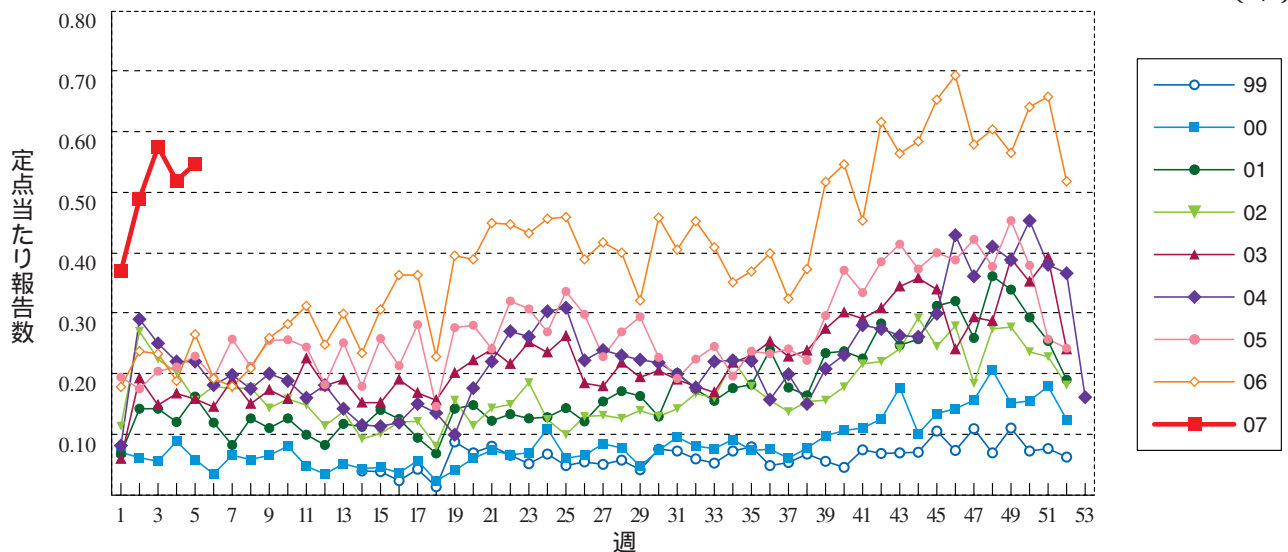
無菌性髄膜炎

(年)



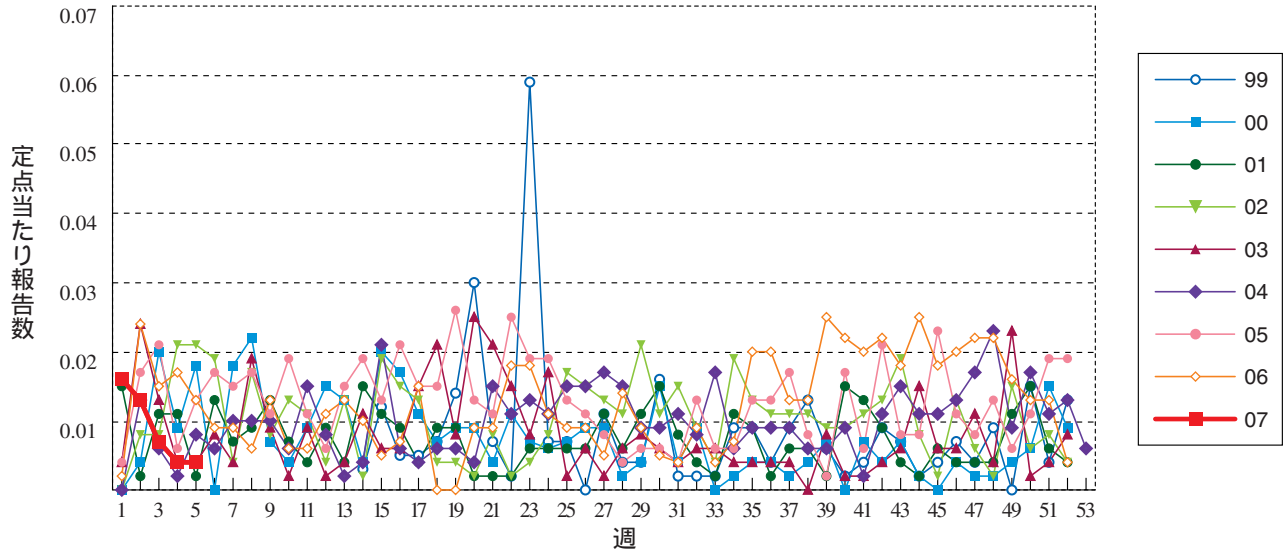
マイコプラズマ肺炎

(年)



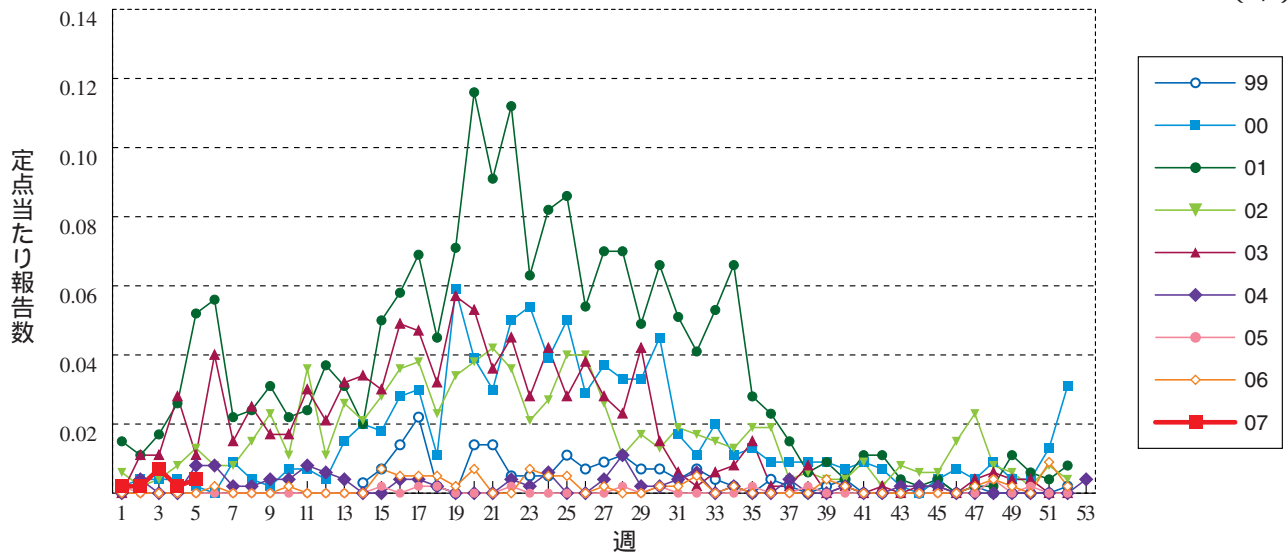
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



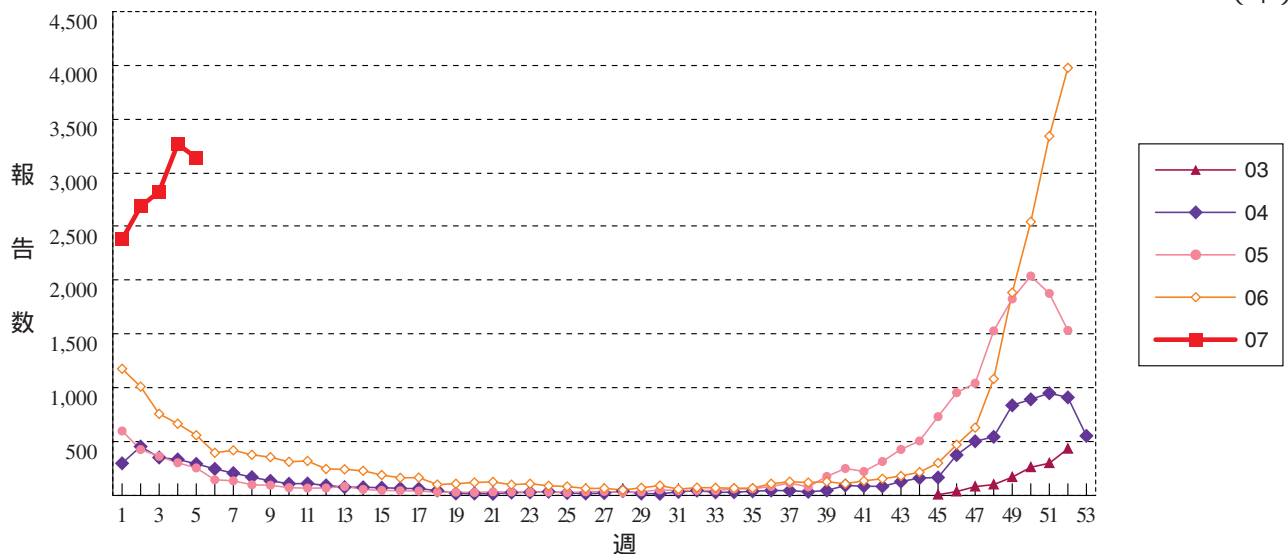
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





**5週間のデータ**

注1) 表中の報告数は2月8日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

注2) また報告システム変更の影響により、この「累積」においては漏れている報告例もありますが、近いうちにそれらも反映する予定です。

\*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年5週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		重症急性呼吸器症候群*		痘 そう		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		コレラ	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年5週

	細菌性赤痢		ジフテリア		腸チフス		パラチフス		腸管出血性大腸菌感染症		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		エキノкокウス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	19	64	-	-	-	3	1	2	5	63	1	4	-	-	2	13	-	1
北海道	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	5	10	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	1	7	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	1	2	-	-
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	4	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	3	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	20	-	-	-	1	-	1	3	4	-	-	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	3	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-
広島県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年5週

	黄熱		オウム病		回帰熱		Q熱		狂犬病		高病原性鳥インフルエンザ		コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	1	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年5週

	炭 疽		つつが虫病		デング熱		ニパウイルス 感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	1	32	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年5週

	発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		レジオネラ症		レプトスピラ症		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6	37	1	1	12	69
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	1	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	1	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	16
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	10
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	1	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	6
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	5
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*E型肝炎およびA型肝炎を除く。  
 \*\*ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年5週

	ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	11	2	14	-	1	2	10	-	13	20	99	1	4	-	1	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
東京都	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	6	28	1	2	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	13	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	10	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	3	-	3	-	-	-	-	-	1	1	13	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-



報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年5週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	10	37	-	3	-	-	3	8	-	-
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
茨城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	1	3	-	-	-	-	-	2	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	3	-	-	-	-	1	1	-	-
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	2	-	-	-	-	1	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-
大分県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年5週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	25190	5.31	1022	0.34	7899	2.62	20210	6.69	6165	2.04	1099	0.36	1955	0.65	1977	0.65	32	0.01
北海道	953	4.18	70	0.49	710	4.97	386	2.70	195	1.36	7	0.05	185	1.29	68	0.48	-	-
青森県	18	0.28	40	0.95	129	3.07	154	3.67	65	1.55	6	0.14	31	0.74	22	0.52	-	-
岩手県	63	1.00	5	0.13	60	1.54	199	5.10	70	1.79	12	0.31	51	1.31	15	0.38	-	-
宮城県	285	2.88	20	0.33	113	1.85	536	8.79	156	2.56	8	0.13	96	1.57	48	0.79	-	-
秋田県	112	2.04	23	0.66	68	1.94	262	7.49	116	3.31	9	0.26	18	0.51	21	0.60	-	-
山形県	675	14.06	15	0.50	106	3.53	158	5.27	71	2.37	25	0.83	25	0.83	19	0.63	-	-
福島県	683	8.54	9	0.19	167	3.48	406	8.46	104	2.17	8	0.17	14	0.29	46	0.96	-	-
茨城県	668	6.75	25	0.33	250	3.33	388	5.17	149	1.99	24	0.32	24	0.32	30	0.40	1	0.01
栃木県	316	4.39	5	0.11	144	3.13	172	3.74	60	1.30	-	-	48	1.04	29	0.63	3	0.07
群馬県	129	1.29	26	0.42	234	3.77	392	6.32	123	1.98	12	0.19	26	0.42	45	0.73	-	-
埼玉県	1112	4.31	90	0.56	409	2.52	1308	8.07	375	2.31	30	0.19	155	0.96	136	0.84	1	0.01
千葉県	1320	6.53	25	0.20	378	2.95	894	6.98	254	1.98	27	0.21	62	0.48	82	0.64	1	0.01
東京都	1244	4.49	27	0.19	277	1.99	917	6.60	217	1.56	20	0.14	65	0.47	78	0.56	2	0.01
神奈川県	1350	4.23	44	0.22	562	2.80	1439	7.16	375	1.87	31	0.15	104	0.52	181	0.90	-	-
新潟県	262	2.76	36	0.59	307	5.03	490	8.03	99	1.62	8	0.13	31	0.51	36	0.59	1	0.02
富山県	119	2.48	28	0.97	218	7.52	284	9.79	58	2.00	1	0.03	108	3.72	14	0.48	-	-
石川県	152	3.17	13	0.45	117	4.03	266	9.17	55	1.90	5	0.17	41	1.41	11	0.38	-	-
福井県	117	3.66	9	0.41	83	3.77	251	11.41	49	2.23	2	0.09	13	0.59	12	0.55	-	-
山梨県	154	3.95	3	0.13	47	1.96	140	5.83	40	1.67	7	0.29	8	0.33	5	0.21	-	-
長野県	451	5.13	56	1.02	137	2.49	393	7.15	91	1.65	1	0.02	62	1.13	21	0.38	5	0.09
岐阜県	660	7.67	20	0.38	53	1.00	175	3.30	62	1.17	5	0.09	39	0.74	28	0.53	3	0.06
静岡県	609	4.80	21	0.24	148	1.72	842	9.79	172	2.00	8	0.09	62	0.72	52	0.60	-	-
愛知県	3768	19.32	36	0.20	309	1.70	899	4.94	340	1.87	31	0.17	205	1.13	119	0.65	2	0.01
三重県	566	7.75	24	0.53	139	3.09	260	5.78	85	1.89	27	0.60	21	0.47	40	0.89	2	0.04
滋賀県	330	6.23	6	0.19	24	0.75	105	3.28	75	2.34	1	0.03	18	0.56	12	0.38	1	0.03
京都府	779	6.28	8	0.11	93	1.24	307	4.09	98	1.31	23	0.31	46	0.61	28	0.37	-	-
大阪府	1693	6.02	39	0.21	407	2.15	1016	5.38	341	1.80	38	0.20	96	0.51	126	0.67	-	-
兵庫県	731	3.69	14	0.11	231	1.80	906	7.08	299	2.34	13	0.10	49	0.38	78	0.61	-	-
奈良県	250	4.63	16	0.46	36	1.03	138	3.94	55	1.57	7	0.20	22	0.63	7	0.20	1	0.03
和歌山県	103	2.06	9	0.29	51	1.65	151	4.87	131	4.23	2	0.06	15	0.48	33	1.06	1	0.03
鳥取県	28	0.97	6	0.32	125	6.58	247	13.00	36	1.89	4	0.21	2	0.11	13	0.68	-	-
島根県	119	3.13	8	0.35	57	2.48	136	5.91	62	2.70	18	0.78	3	0.13	16	0.70	-	-
岡山県	183	2.29	10	0.19	52	0.96	303	5.61	97	1.80	17	0.31	7	0.13	28	0.52	-	-
広島県	487	4.23	46	0.64	161	2.24	632	8.78	86	1.19	6	0.08	16	0.22	45	0.63	1	0.01
山口県	213	3.04	20	0.41	211	4.31	474	9.67	89	1.82	2	0.04	29	0.59	40	0.82	-	-
徳島県	27	0.69	1	0.05	35	1.67	184	8.76	16	0.76	-	-	7	0.33	12	0.57	-	-
香川県	39	0.80	3	0.10	38	1.27	153	5.10	72	2.40	2	0.07	10	0.33	21	0.70	1	0.03
愛媛県	33	0.54	2	0.05	160	4.32	356	9.62	139	3.76	10	0.27	18	0.49	29	0.78	-	-
高知県	25	0.52	4	0.13	70	2.33	164	5.47	38	1.27	5	0.17	5	0.17	12	0.40	-	-
福岡県	1634	8.25	41	0.34	395	3.29	994	8.28	307	2.56	126	1.05	39	0.33	112	0.93	5	0.04
佐賀県	207	5.31	11	0.48	41	1.78	139	6.04	81	3.52	41	1.78	2	0.09	22	0.96	-	-
長崎県	233	3.33	23	0.52	60	1.36	258	5.86	85	1.93	83	1.89	6	0.14	33	0.75	-	-
熊本県	360	4.50	22	0.46	148	3.08	508	10.58	118	2.46	54	1.13	8	0.17	31	0.65	-	-
大分県	401	6.91	17	0.47	91	2.53	455	12.64	144	4.00	47	1.31	31	0.86	30	0.83	-	-
宮崎県	841	14.25	29	0.81	112	3.11	401	11.14	154	4.28	198	5.50	19	0.53	38	1.06	-	-
鹿児島県	428	4.60	16	0.29	94	1.68	431	7.70	181	3.23	77	1.38	9	0.16	38	0.68	-	-
沖縄県	260	4.48	1	0.03	42	1.24	141	4.15	80	2.35	11	0.32	4	0.12	15	0.44	1	0.03

\*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年5週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	4	0.00	84	0.03	7	0.00	2096	0.69	18	0.03	395	0.63	1	0.00	17	0.04	245	0.55
北海道	-	-	2	0.01	-	-	76	0.53	-	-	18	0.62	-	-	-	-	3	0.14
青森県	-	-	1	0.02	-	-	64	1.52	-	-	9	0.82	-	-	-	-	18	3.00
岩手県	-	-	4	0.10	-	-	69	1.77	-	-	12	1.00	-	-	-	-	9	0.45
宮城県	-	-	1	0.02	-	-	74	1.21	2	0.17	-	-	-	-	-	-	7	0.58
秋田県	-	-	-	-	-	-	22	0.63	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	9	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.20
福島県	-	-	-	-	-	-	27	0.56	-	-	7	0.58	-	-	-	-	13	1.86
茨城県	-	-	-	-	-	-	15	0.20	-	-	13	0.87	-	-	-	-	4	0.50
栃木県	-	-	-	-	-	-	53	1.15	-	-	13	1.08	-	-	-	-	9	1.29
群馬県	-	-	1	0.02	-	-	50	0.81	-	-	20	1.43	-	-	-	-	12	1.50
埼玉県	-	-	4	0.02	3	0.02	69	0.43	3	0.08	26	0.65	-	-	-	-	7	0.78
千葉県	-	-	2	0.02	-	-	53	0.41	3	0.09	25	0.78	-	-	-	-	2	0.22
東京都	-	-	4	0.03	-	-	44	0.32	-	-	10	0.71	-	-	1	0.04	7	0.30
神奈川県	1	0.00	6	0.03	-	-	81	0.40	-	-	35	0.97	-	-	1	0.14	2	0.29
新潟県	-	-	-	-	-	-	204	3.34	-	-	5	0.45	-	-	1	0.08	9	0.75
富山県	-	-	-	-	-	-	33	1.14	-	-	1	0.14	-	-	-	-	5	1.00
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	5	0.23	-	-	1	0.33	-	-	1	0.17	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	4	0.17	-	-	6	0.67	-	-	-	-	4	0.40
長野県	-	-	1	0.02	1	0.02	57	1.04	2	0.18	1	0.09	-	-	1	0.09	7	0.64
岐阜県	-	-	2	0.04	-	-	24	0.45	-	-	1	0.10	-	-	4	0.80	2	0.40
静岡県	-	-	1	0.01	-	-	40	0.47	1	0.05	7	0.35	-	-	-	-	8	0.80
愛知県	1	0.01	2	0.01	1	0.01	73	0.40	-	-	12	0.35	-	-	-	-	10	0.91
三重県	-	-	-	-	-	-	76	1.69	-	-	2	0.17	-	-	-	-	6	0.67
滋賀県	-	-	-	-	-	-	6	0.19	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.43
京都府	1	0.01	4	0.05	-	-	18	0.24	-	-	4	0.22	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	5	0.03	-	-	112	0.59	1	0.02	9	0.22	-	-	-	-	13	1.18
兵庫県	-	-	-	-	1	0.01	165	1.29	1	0.03	15	0.43	-	-	2	0.18	1	0.09
奈良県	-	-	-	-	-	-	9	0.26	-	-	-	-	-	-	1	0.17	1	0.17
和歌山県	-	-	-	-	-	-	16	0.52	1	0.25	2	0.50	-	-	-	-	3	0.27
鳥取県	-	-	-	-	-	-	28	1.47	-	-	2	0.67	-	-	-	-	4	0.80
島根県	-	-	3	0.13	-	-	38	1.65	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	6	0.11	-	-	31	0.57	-	-	18	1.50	-	-	-	-	6	1.20
広島県	-	-	1	0.01	1	0.01	26	0.36	-	-	12	0.63	1	0.05	-	-	1	0.05
山口県	-	-	8	0.16	-	-	27	0.55	-	-	1	0.11	-	-	-	-	1	0.11
徳島県	-	-	1	0.05	-	-	8	0.38	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.03	-	-	22	0.73	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	21	0.57	-	-	20	2.50	-	-	-	-	6	1.00
高知県	-	-	-	-	-	-	26	0.87	-	-	5	1.67	-	-	-	-	2	0.29
福岡県	-	-	12	0.10	-	-	86	0.72	1	0.04	11	0.42	-	-	1	0.07	3	0.20
佐賀県	-	-	1	0.04	-	-	4	0.17	-	-	2	0.50	-	-	-	-	6	1.00
長崎県	-	-	-	-	-	-	8	0.18	3	0.38	7	0.88	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	10	0.21	-	-	15	0.31	-	-	15	1.67	-	-	-	-	3	0.20
大分県	-	-	1	0.03	-	-	47	1.31	-	-	3	0.60	-	-	-	-	2	0.18
宮崎県	-	-	-	-	-	-	67	1.86	-	-	15	2.50	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	69	1.23	-	-	7	1.00	-	-	-	-	7	0.58
沖縄県	-	-	-	-	-	-	25	0.74	-	-	8	0.80	-	-	4	0.57	35	5.00

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2007年5週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	2	0.00	2	0.00	3141
北海道	-	-	-	-	66
青森県	-	-	-	-	45
岩手県	-	-	-	-	10
宮城県	-	-	1	0.08	16
秋田県	-	-	-	-	92
山形県	-	-	-	-	60
福島県	-	-	-	-	92
茨城県	-	-	-	-	13
栃木県	-	-	-	-	21
群馬県	-	-	-	-	29
埼玉県	-	-	-	-	31
千葉県	-	-	-	-	24
東京都	-	-	-	-	49
神奈川県	-	-	-	-	42
新潟県	2	0.17	-	-	57
富山県	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	28
福井県	-	-	-	-	69
山梨県	-	-	-	-	2
長野県	-	-	1	0.09	30
岐阜県	-	-	-	-	55
静岡県	-	-	-	-	160
愛知県	-	-	-	-	268
三重県	-	-	-	-	136
滋賀県	-	-	-	-	31
京都府	-	-	-	-	10
大阪府	-	-	-	-	288
兵庫県	-	-	-	-	217
奈良県	-	-	-	-	29
和歌山県	-	-	-	-	60
鳥取県	-	-	-	-	12
島根県	-	-	-	-	26
岡山県	-	-	-	-	63
広島県	-	-	-	-	154
山口県	-	-	-	-	155
徳島県	-	-	-	-	83
香川県	-	-	-	-	44
愛媛県	-	-	-	-	76
高知県	-	-	-	-	133
福岡県	-	-	-	-	79
佐賀県	-	-	-	-	20
長崎県	-	-	-	-	58
熊本県	-	-	-	-	44
大分県	-	-	-	-	28
宮崎県	-	-	-	-	62
鹿児島県	-	-	-	-	55
沖縄県	-	-	-	-	18

## 獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年5週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2007年5週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総数	1	3
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	1	1
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	2
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第9巻 第5号 2007年2月19日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 < 厚生労働省 >  
<http://www.forth.go.jp/>  
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。